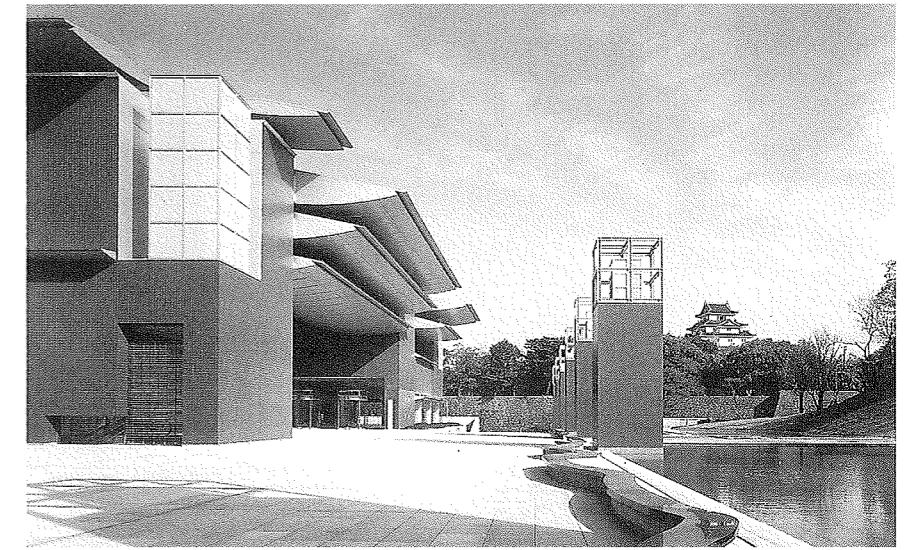


和歌山県立近代美術館年報

一九九九年度

(平成11年度)





年報の刊行にあたって

和歌山県立近代美術館は、1994年7月に新築開館いたしました。当館の前身は1963年に旧和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館ですが、その後1970年に県立近代美術館として和歌山県民文化会館内に開館いたしました。以後、1993年までの23年間、「和歌山版画ビエンナーレ」展や「関西の美術家シリーズ」といった独自の企画展を通じて、県民の皆さんに親しまれ、また日本国内はもとより海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。

当館はこの歴史を踏まえて、過去の美術の展示、収集活動のみならず、未来を目指して多様化していく美術表現に対応し、美術を幅広く紹介してゆくことを責務としております。1999年度に行った活動を、ここにご報告いたします。

展覧会活動について、本年度は特別企画展4回と、小企画展を4回、常設展を4回開催しました。「デモクラート1951-1957」は、かつて開催した「関西の美術家シリーズ」の蓄積を掘り下げ、戦後日本美術の形成に大きな影響を与えたこのグループの全貌を、豊富な資料で紹介しました。南紀熊野体験博にあわせて開催した「熊野の音十熊野の色」では、増田感と北堅吉彦という二人の作品によって、斬新な角度から和歌山の新たな魅力に光を当てました。「サンフランシスコ近代美術館展」では、アメリカを代表する美術館の一つである同館のコレクションと、施設などを紹介しました。当県ゆかりの作家を紹介する「川口軌外展」は、ほぼ四半世紀振りに吉備町出身のこの洋画家を回顧した展覧会でした。教育普及活動も活発に展開し、また展覧会を契機に新たな作品の収集も行われました。

それぞの詳細は本文に譲りますが、この間、幸いにも大勢の方々にご来館いただき、開館以来約30万人を数えることが出来ました。

これら当館の活動は、多くの方々からの様々なご協力によって、成り立ってきたものです。ここで、多くのご助力に感謝申し上げるとともに、本年報の刊行を一つの節目として、今後も一層充実した美術館活動を進めることを誓って、ごあいさつといたします。

2001年3月

和歌山県立近代美術館

目次

年報の刊行にあたって	1
沿革	2
展覧会事業	
企画展	4
常設展	35
普及事業	49
調査・研究・発表活動および对外協力活動	52
収集事業	53
保存事業	69
管理運営	73
関係法規	76
建築概要	81
案内	84

沿革

■和歌山県立美術館

1963年	木下義謙作品展
3月17日	旧和歌山城二の丸跡に開館
7月	川口軌外展
11月	第17回和歌山県美術展（1969年第23回展まで開催）
1964年	
4月	紀州陶磁器展
1965年	
3月	祇園南海展
5月	長沢蘆雪名作展
7月	日高昌克展
10月	近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展
1966年	
3月	ダリ・シャガール・ピュッフェ版画展
6月	石垣栄太郎遺作展
7月	川端龍子展
10月	松方コレクション展
1967年	
10月	富岡鉄斎展
1968年	
2月	現代洋画大家展
3月	桑山玉洲展
4月	吉川觀方コレクション 浮世絵総合展
10月	明治100年記念郷土作家回顧展
1969年	
4月	保田龍門展
1970年	
3月	京都の近代日本画
4月	吉川觀方コレクション 日本女装展
11月2日	廃館

■和歌山県立近代美術館

1970年	和歌山県民文化会館内に開館
11月2日	第24回和歌山県美術展（1993年第47回展まで開催）
1971年	
3月	大夢・晩花展
8月	紀州の風景画展
1972年	
3月	原勝四郎展
10月	アメリカにおける日本人作家回顧展 「石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本」
1973年	
10月	川口軌外展
1974年	
4月	吉田政次遺作展
10月	裕伊之助展
1975年	
10月	木下孝則回顧展
1976年	
2月	1910年代における京都日本画の新動向展

1977年

2月	田中恭吉展
10月	川端龍子展
1978年	
10月	日高昌克展
1979年	
2月	神中糸子と工部美術学校展
5月	村井正誠展
10月	高井貞二展
1980年	
3月	川口軌外とその周辺 —和歌山の初期独立展系作家たち一展
10月	開館10周年記念 1930年協会の作家たち展

1990年
7月

関西の美術家シリーズ7 美術の現在—4つの試み
宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展
現代の陶芸1980-1990 関西の作家を中心として

1991年
3月
7月

第4回和歌山版画ビエンナーレ展
関西の美術家シリーズ8 美術の現在—彫刻の変容
小清水漸・北辻良央・川島慶樹展
ポスター芸術100年

1992年
10月

版画芸術の饗宴—ケネス・タイラーと巨匠たち
：1963-1992

1993年
3月

第5回和歌山版画ビエンナーレ展

■新館計画

1988年
2月

政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定

3月

新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置

9月

新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置

1989年
4月

「和歌山県美術品取得基金条例」を設置

8月

新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申

9月

美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置

1990年
9月

美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置

1991年
7月

新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認

10月

和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル作《煉瓦の壁ぞいに歩く男》(1988)を購入

11月

施設着工式を挙行

1992年
8月

和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ作《赤の上の黄褐色と黒》(1957)を購入

1993年
9月

和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ作《ラッカⅢ》(1968)を購入

1994年
2月

和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ作《ミノトーロマシー》(1935)、《泣く女》(1937)を購入

定礎式を挙行

3月

工事完了
新美術館へ移転

■和歌山県立近代美術館 新館

7月8日 新近代美術館開館

開館記念展1 美術館へ行こう
開館記念展2 大正のまなざし
—若き保田龍門とその時代—

11月 ルオーの「ミゼレーレ」

1995年
1月
2月

和歌山の詩人—恩地孝四郎

和歌山ゆかりの作家たち

1994年度新収蔵作品展

ヴィクトリア&アルバート美術館展
イギリス絵画の350年

7月
8月
9月

村井正誠展 色とかたちと心一人間の詩
美術館に行ったよ！—風景ってなあに—

保田春彦展

野田裕示近作展

1996年
1月
2月

線画の世界—かたりの表現—
ひかる・うごく・おとがする

「絵画」というしくみ

紀伊半島を歩いて
ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン

モスクワ、プーシキン美術館名作展—室内への視線—

ホックニーのグリム童話

日本のグラフィックデザイン

和歌山の版画家10人

新しい関西の美術家たち ものとあらわれ

美術館へ行ったよ！コレクションに見る東京

美術館へ行ったよ！コレクションに見るパリ

アルザスとフランス近代美術の歩み
—ストラスブル近代美術館展—

版画の技法・表現の手法

マリノ・マリーニ展

アメリカの中の日本

石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち

1998年
1月
2月

心のかたち

泉茂 初期版画作品を中心に

世紀末の華 オーブリー・ビアズリー展

日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1

日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2

静けさの中から 星の贈りもの

和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3

意味とイメージ あらわれる浪漫主義の明治

フランス現代美術展 眼と精神

関西の戦後美術 1950's~1990's

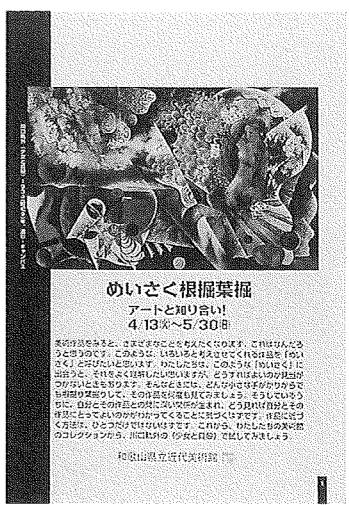
展覧会事業 企画展

1999年度企画展一覧

1. めいさく根堀葉掘 アートと知り合い!
4/13(火)~5/30(日)
2. デモクラート1951-1957 開放された戦後美術
6/8(火)~7/11(日)
3. 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4
7/17(土)~8/8(日)
4. 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展
8/14(土)~9/12(日)
5. サンフランシスコ近代美術館展—カリフォルニア・アートシーン 1920's-1930's
9/19(日)~10/24(日)
6. 川口軌外展—ある洋画家の軌跡
11/2(火)~12/12(日)
7. 越境する想像力—素材との出会い
12/21(火)~1/30(日)
8. コレクションにみる芸術と社会
2/15(火)~3/19(日)

1. めいさく根堀葉掘

会 期：1999年4月13日(火)～5月30日(日)
休 館 日：月曜日(祝日の場合は翌日)
主 催：和歌山県立近代美術館
会 場：展示室C
観 覧 料：常設展と共に
関連事業：ミュージアム・トーク(植野比佐見)
5月1日(土) 2日(日) 3日(月) 4日(火) 5日(水)
14:00 美術館ホール
印 刷 物：案内ハガキ
出品目録(A4判)
パンフレット(A5版 8ページ)
植野比佐見「本文」
図版
担当学芸員：植野比佐見
趣 旨：ひとつの作品と向き合い、その理解に向かうための手がかりを、作品とともに提示することで、鑑賞者が主体的に作品から意味を読み取れるような展覧会を試みた。
関連記事：アートと知り合い！めいさく根堀葉掘
和歌山リビング 1999.4.17 3面 美術館便
作品と向かい合い美への感性磨こう
讀賣新聞 1999.5.8 26面 地域ニュース
“めいさく根堀葉掘”展
日高新報 1999.5.2 シンポーウィーイ広場
企画展「めいさく根堀葉掘 アートと知り合い！」
和歌山新報 1999.5.29 週末ガイド



パンフレット

出品リスト

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1 キャプションからはじめる					
1-1 作者名から					
1 ロート, アンドレ	ミルマンドの城壁	制作年不明	油彩、キャンバス	37.9×45.0	
2 ロート, アンドレ	風景	制作年不明	水彩、紙	34.5×52.0	
3 レジェ, フェルナン	軽業師マリー	1948(昭和23)	石版、紙	54.5×42.7	
1-2 タイトルから					
4 森口宏一	ボッティチエリ・ヴィーナスの誕生より	1986(昭和61)	シルクスクリーン、アクリル、ステンレス	88.0×134.0	
5 川口軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.0×267.0	
1-3 制作年から					
6 川口軌外	花	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	115.5×90.0	
7 川口軌外	地図	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	154.6×193.1	
8 川口軌外	貝殻	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	80.3×115.5	
1-4 同時代の表現を見る					
9 ピカソ, パブロ	LYSISTRATA (女の平和)	1934(昭和9)	銅版、紙	29.0×23.1	
10 恩地孝四郎	海の童話	1934(昭和9)	木版、紙	28.8×22.0	
11 ブノワ, ワルワーラ	ブウシキン 葬儀屋	1934(昭和9)	石版、紙(冊子)	31.0×22.8	
12 川西英	曲馬寫生帖	1934(昭和9)	木版、紙(冊子)	29.5×22.5	
13 稲伊之助	望遠鏡	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	40.8×33.0	
14 木下孝則	赤衣の女	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	71.5×51.0	
15 稲伊之助	大きなパルミエ	1935(昭和10)	石版、紙	52.0×69.0	
16 稲伊之助	朝顔	1935(昭和10)	石版、紙	72.4×53.5	
17 村井正誠	ゴルフジュアンの朝	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	145.6×112.3	
18 清水正博	巡航船	1934(昭和9)	木版、紙	48.5×38.0	
19 恩地孝四郎	サーカス (ハーゲンベック・サーカスの印象)	1933(昭和8)	木版、紙	44.0×34.0	
20 安井曾太郎	画家とモデル	1934(昭和9)	木版、紙	39.7×27.7	
21 清水正博	雑誌『新版画第十六號 都市貴流特輯号』表紙	1935(昭和10)	木版、紙	28.5×21.2	
2 さまざまなタイトル					
22 デューラー, アルブレヒト	メレンコリア I	1514	銅版、紙	23.8×18.5	受託作品
23 デューラー, アルブレヒト	ネメージス (運命の女神)	1501-03頃	銅版、紙	33.5×23	受託作品
24 デューラー, アルブレヒト	アダムとイヴ	1504	銅版、紙	22.2×15.7	受託作品
25 ピカソ, パブロ	ミノトーロマシー	1935(昭和10)	銅版、紙	49.8×69.3	
26 白髪一雄	平治元年十二月二十六日	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	272.0×363.0	
27 津高和一	アシタハキノウニナル	1964(昭和39)	油彩、キャンバス	193.9×130.3	
28 グリーン, アラン	深紅色にかこまれた白	1982(昭和57)	油彩、キャンバス	201.0×201.0	
3 作者のことばを通して					
29 建畠覚造	デッサン [有機体]	1957(昭和32)頃	鉛筆、インク、紙	18.4×16.0	
30 建畠覚造	有機体	1957(昭和32)	セメント、鉄	124×100×47	
31 建畠覚造	核	1956(昭和31)	セメント、鉄	65.0×45.0×51	
32 浅野弥衛	無題	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	72.2×90.9	
33 浅野弥衛	無題	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	72.2×90.9	
4 制作の前後を見る					
34 高井貞二	感情の遊離	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	149.5×89.5	
35 高井貞二	機械	1931(昭和6)頃	油彩、キャンバス	52.7×45.3	
36-39高井貞二	回教徒下絵 (4点)	1942(昭和17)	水彩、紙	各38.5×57	
40 高井貞二	回教徒	1942(昭和17)	油彩、キャンバス	130×161.7	

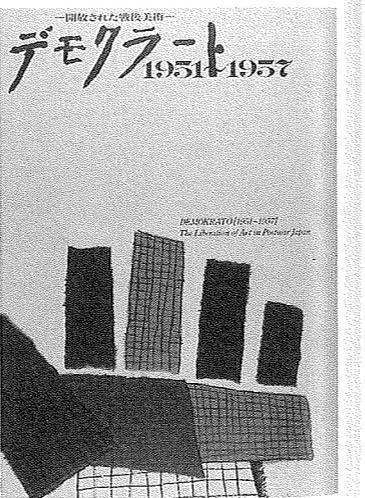
作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
41 村井正誠					
41 村井正誠	聚落	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	80.1×116.3	
42 村井正誠	パンチュール	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	81×100.2	
43 村井正誠	形象 A	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	89×145.1	
44-53 同じモチーフのある表現					
44 福岡道雄	坂道	1974(昭和49)	ポリエステル、木	121.0×51.0×61.0	
45 香山小鳥	風景	1911(明治44)	油彩、板	20.2×14.8	
46 保田龍門	潮風にもまれた椿	1914-6(大正3-5)頃	油彩、キャンバス	61×46	
47 亀井玄兵衛	郊外風景	昭和初期	墨、紙	53.5×84.2	
48 織田一磨	東京風景 八 駿河臺	1916(大正5)	石版、紙	39.4×28.9	
49 織田一磨	東京風景 十四 上野廣小路	1916(大正5)	石版、紙	40.3×28.5	
50 織田一磨	東京風景 一 愛宕山	1916(大正5)	石版、紙	41.8×26.0	
51 佐伯祐三	下落合風景	1926(昭和元)頃	油彩、キャンバス	50.0×60.5	
52-53ルオー、ジョルジュ	ミゼレーレ	1922-27(大正11-昭和2)			
54-64 悩みの果てぬ古き場末で 孤独者通り					
54 小野忠重	道	1958(昭和33)	木版、紙	56.3×41.7	
55 稲田一穂	帰り路	1981(昭和56)	顔料、紙	36.2×50.4	
56 プルトン、ハミッシュ	山の辺の道	1986(昭和61)	写真、テキスト	60.2×89.9	
57 ボイル、マーク	黒いふち石の研究	1980-81(昭和55-56)	彩色、ファイバーグラス	193.5×166.5	
58 パターソン、サイモン	大熊座	1992(平成4)	石版、紙	109.3×134.7×5.2	
59 大亦觀風	紀州路行脚日記画巻	1934(昭和9)	墨、顔料、紙	24.2×1795.0	
60 川端龍子	芭蕉翁	1923(大正12)	顔料、絹	71.8×81.2	
61 土田麥懐	梅ヶ畠村	1915(大正5)	顔料、絹	145.0×50.8	
62 山口八九子	水辺村落	1917(大正6)頃	顔料、絹	130×42	
63 吹田草牧	南国之初夏	1919(大正8)頃	顔料、絹	127.0×42.1	
64 山口八九子	海近き畑	1920(大正9)	顔料、絹	133.8×50.6	
65-76 技法と表現の関係					
65 野長瀬晩花	スケッチ帖より《アネモネ》	1949(昭和24)	鉛筆、水彩、紙	45.3×27.0	受託作品
66 佐伯祐三	アネモネ	1925(大正14)頃	油彩、キャンバス	9.2×19.0	
67 岡本帰一	花	制作年不明	木版、紙	36.1×26.3	
68 稲垣知雄	アネモネ	1950(昭和25)頃	合羽摺、紙	25.1×18.4	
69 長谷川潔	切子ガラスに挿したアネモネと草花	1944-45(昭和19-20)	アクアチント、紙	26.0×14.0	
70 清宮彬	花	1914(大正3)	木版、紙	15.9×12.3	
71 中西夏之	コンパクト・オブジェ (卵)	1962-66(昭和37-41)	ポリエステル樹脂	90.0×90.0	
72 野村仁	午後のアナレンマ	1990(平成2)	カラープリント、紙	90.0×90.0	
73 野村仁	正午のアナレンマ	1990(平成2)	カラープリント、紙	90.0×90.0	
74 野村仁	午前のアナレンマ	1990(平成2)	カラープリント、紙	68×44.3×23.3	
75 加納光於	アララットの船あるいは空の蜜	1971-72(昭和46-47)	ミクストメディア	35.0×62.0×51.0	
76 アーリントン、エドワード	あなたに名前がなかったら	1991(平成3)	ブロンズ、写真、木		



会場風景

2. デモクラート1951-1957

会期：1999年6月8日(火)～7月11日(日)
 休館日：月曜日
 主催：和歌山県立近代美術館
 会場：展示室C
 観覧料：一般810(660)円／高生510(400)円／小中生310(250)円
 ()内は20名以上の団体料金、高齢者(65歳以上)、障害者は無料
 関連事業：ミュージアム・トーク(安来正博)
 6月13日(日)、6月27日(日)、7月11日(日) 14:00美術館ホール
 講演会「版との出会い デモクラート時代を振り返って」
 講師 山中嘉一氏(浪速短期大学教授)
 7月4日(日) 14:00美術館ホール
 印刷物：ポスター(B2判)
 ちらし(A4判)
 出品目録(A4判2ツ折)
 図録(A4判 211ページ)
 あいさつ
 謝辞
 本文
 福島辰夫「私のデモクラート、瑛九のデモクラート」
 高橋亨「デモクラートとその時代—関西の動向を中心に—」
 正木基「デモクラート美術家協会総論—文献切り貼りによる私見」
 作品図版
 デモクラート活動の足跡
 デモクラート美術家協会年表
 デモクラート展記念座談会
 機関誌『デモクラート』より
 機関誌『デモクラート』寄稿リスト
 岡塚章子「瑛九と写真」
 泉茂宛書簡／安來正博
 安來正博「関西デモクラートの7年—結成から解散までの経緯ー」
 鶴嶋他「デモクラートと私」
 デモクラート展開催記録および会員の動き
 主要美術雑誌におけるデモクラート関連記事一覧
 出品作家略歴
 出品リスト
 担当学芸員：安來正博
 趣旨：1951年に瑛九、泉茂らを中心に結成された前衛芸術家集団「デモクラート美術家協会」の、7年間の活動の軌跡を、当時の作品と資料によって振り返り、紹介した。
 関連記事：ミュージアムいろいろ 和歌山ニュースせんなん 1999.5.22
 形式や流派に縛られぬ290点 産経新聞 1999.5.26 27面
 デモクラート1951-1957 読売新聞 1999.5.27 34面
 美術館便り／デモクラート1951-1957 和歌山リビング 1999.5.29 13面
 デモクラート展8日開幕 読売新聞 1999.6.1 28面 地域のニュース
 戦前に生きた前衛芸術 毎日新聞 1999.6.1 地域のニュース
 県立近代美術館特別展に招待 産経新聞 1999.6.1 23面
 県立近代美術館で特別展「開放された戦後美術」紀陽文化財団ペア100組を招待 和歌山新報 1999.6.1
 デモクラート1951-1957・開放された戦後美術 神戸新聞 1999.6.3 20面
 7年間の軌跡 和歌山新報 1999.6.5 2面 特集
 OPENING DEMOKRATO1951-1957 MAINICHI DAILY NEWS 1999.6.8 9面
 デモクラート美術家協会 県立近代美術館で特別展 1999.6.9 7面
 「自由の精神」270点展示 讀賣新聞 1999.6.9 25面
 「デモクラート1951-1957」展 朝日新聞 1999.6.15
 Art in the name of democracy THE DAILY YOMIURI 1999.6.16
 メッセージ性強い社会派
 デモクラート1951-1957 開放された戦後美術 和歌山新報 1999.6.19 4面



ポスター

出品リスト

作家名

作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
窓	1951(昭和26)	油彩、カンヴァス	91.0×73.0	北九州市立美術館
花と家	1951(昭和26)	油彩、ガラス	23.5×44.6	宮崎県立美術館
芝居	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	46.6×56.1	宮崎県立美術館
窓のプロフィル	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	55.9×45.8	宮崎県立美術館
愛撫	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	26.3×21.9	和歌山県立近代美術館
リズム	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	53.5×41.5	埼玉県立近代美術館
フォトデッサン集「眞畫の夢」より(表紙)散歩	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	11.0×13.8	
フォトデッサン集「眞畫の夢」より廻轉盤	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	10.7×14.0	
フォトデッサン集「眞畫の夢」より夜の子供たち	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	11.2×14.1	
フォトデッサン集「眞畫の夢」よりかえろ、かえろ	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	11.0×13.5	
フォトデッサン集「眞畫の夢」より会話	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	10.9×14.0	
フォトデッサン集「眞畫の夢」より秋のソナタ	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	14.0×11.1	
フォトデッサン集「眞畫の夢」より食卓	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	11.0×13.3	
フォトデッサン集「眞畫の夢」より眠りの中の白い馬	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	11.0×14.0	
フォトデッサン集「眞畫の夢」より丘の歴史	1951(昭和26)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	10.9×14.0	
眼	1951(昭和26)	エッチング、紙	20.7×15.5	埼玉県立近代美術館
夢	1951(昭和26)	エッチング、紙	23.6×18.2	埼玉県立近代美術館
樹	1951(昭和26)	油彩、カンヴァス	40.8×31.8	和歌山県立近代美術館
空ろなる真昼(王国)	1951(昭和26)	油彩、カンヴァス	90.8×90.7	高松市美術館
第7回秋の秀彩会ポスター	1951(昭和26)	オフセット、紙	72.8×51.5	
広巾服地即売会ポスター	1951(昭和26)	オフセット、紙	76.0×53.8	
カロン洋裁生徒募集ポスター	1951(昭和26)	オフセット、紙	75.7×52.6	
カロン洋裁研究所・生徒募集ポスター	1951(昭和26)	オフセット、紙	71.8×51.9	
作品	1951(昭和26)頃	油彩、ボール紙	27.2×21.9	宮崎県立美術館
フォト・デッサン集「黒い信号」より	1951(昭和26)頃	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	26.7×22.3	宮崎県立美術館
フォト・デッサン集「黒い信号」より	1951(昭和26)頃	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	16.5×11.9	宮崎県立美術館
フォト・デッサン集「黒い信号」より	1951(昭和26)頃	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	11.9×15.3	宮崎県立美術館
フォト・デッサン集「黒い信号」より	1951(昭和26)頃	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	13.8×10.3	宮崎県立美術館
フォト・デッサン集「黒い信号」より	1951(昭和26)頃	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	16.4×11.9	宮崎県立美術館
作品	1951(昭和26)	エッチング、紙	23.6×18.0	
作品	1951(昭和26)頃	エッチング、紙	24.0×18.1	
蝶	1951(昭和26)頃	油彩、カンヴァス	45.5×53.0	
棚橋紫水	1946-52(昭和21-27)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	30.0×43.7	東京都写真美術館
瑛九	1952(昭和27)	エッチング、紙	14.6×13.0	宮崎県立美術館
背中合せ	1952(昭和27)	エッチング、紙	17.9×11.9	宮崎県立美術館
ヴァイオリン	1952(昭和27)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	26.9×21.8	宮崎県立美術館
たそがれ	1952(昭和27)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	56.0×45.5	埼玉県立近代美術館
踊り子	1952(昭和27)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	56.0×45.5	埼玉県立近代美術館
三人の乙女	1952(昭和27)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	56.0×45.5	伊丹市立美術館
机上	1952(昭和27)	油彩、カンヴァス	53.0×41.0	宮崎県立美術館
縛られた瓶	1952(昭和27)頃	紙、パステル	60.3×45.6	
原質とジャズ	1952(昭和27)	油彩、カンヴァス	60.3×72.6	
敗戦ヒロシマ(黒)夜	1952(昭和27)	油彩、カンヴァス	73.1×91.0	
敗戦ヒロシマ(白)	1952(昭和27)	油彩、カンヴァス	72.5×90.8	
早川良雄・商業デザイン個人展ポスター	1952(昭和27)	オフセット、紙	52.0×37.0	
東京大阪新人合同舞踊会ポスター	1952(昭和27)	オフセット、紙	52.0×37.6	
第3回デモクラート展ポスター	1952(昭和27)	オフセット、紙	53.0×37.0	
作品	1952(昭和27)頃	油彩、カンヴァス	65.0×53.0	
海暗地帯	1952(昭和27)	油彩、カンヴァス	74.0×41.0	
浸食された岩No.4	1949-52(昭和24-27)	ゼラチンシルバープリント、紙	46.4×33.4	東京都写真美術館
作品	1949-52(昭和24-27)	ゼラチンシルバープリント、紙	36.1×51.7	東京都写真美術館
乞食の親子(銀座・数寄屋橋上にて)	1952(昭和27)	ゼラチンシルバープリント、紙	17.0×17.7	
瑛九の肖像(浦和の自宅庭)	1952(昭和27)	ゼラチンシルバープリント、紙	22.2×17.5	
昼寝する瑛九(浦和の自宅庭)	1952(昭和27)	ゼラチンシルバープリント、紙	18.9×19.1	
眼	1953-54(昭和28-29)	油彩、カンヴァス	100.2×80.5	宮崎県立美術館
家族A	1953(昭和28)	エッチング、紙	18.0×23.2	宮崎県立美術館
オベラグラス	1953(昭和28)	エッチング、紙	23.5×18.1	宮崎県立美術館
母	1953(昭和28)	エッチング、紙	29.1×23.8	宮崎県立美術館
子供たち	1953(昭和28)	ゼラチンシルバープリント、フォト・デッサン、紙	33.5×26.5	埼玉県立近代美術館
敗戦ヒロシマ(赤)血の爆発	1953(昭和28)	油彩、カンヴァス	60.5×72.6	埼玉県立近代美術館

3. 日本の近代版画ーコレクション・ダイジェスト4

会期：1999年7月17日(土)～8月8日(日)

休館日：月曜日

主催：和歌山県立近代美術館

会場：展示室C

観覧料：常設展と共通

関連事業：ミュージアム・トーク(井上芳子)

7月24日(土) 14:00 美術館ホール

印刷物：案内ハガキ

出品目録(A4判)

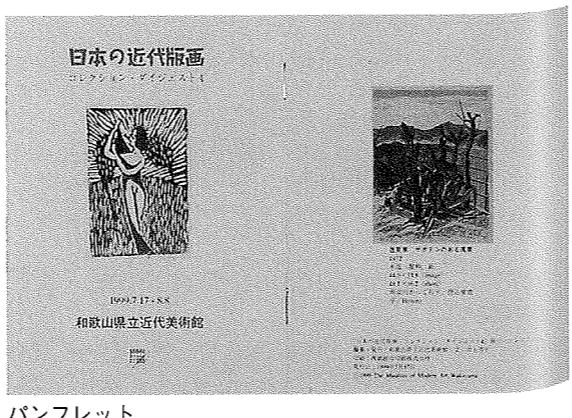
パンフレット(A6判 15ページ)

担当学芸員：井上芳子

趣旨：大正から昭和戦前期において、版画を通して深い繋がりのあった3作家、香山小鳥
(1892-1913)、藤森静雄(1891-1943)、逸見享(1895-1944)の作品を紹介した。

関連記事：生田誠「日本の近代版画／作品収集の成果」産経新聞、1998.7.5日曜版、15面

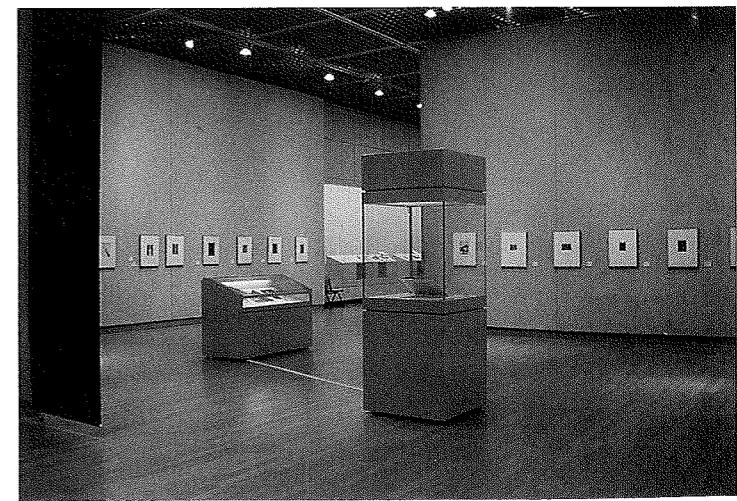
生田誠「厳しい世相の中で光る企画力」産経新聞、1998.12.20日曜版、13面



作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1 香山小鳥	【鉄橋と川の風景】	1912(明治45/大正元)頃	木版	10.0×14.5	
2 香山小鳥	【裸婦のいる風景】	1912(明治45/大正元)	木版	17.0×11.7	
3 香山小鳥	【失題】	1912(明治45/大正元)	木版	15.9×11.3	
4 香山小鳥	【花】	1912(明治45/大正元)頃	木版	8.8×8.6	
5 香山小鳥	【みつめる】	1912(明治45/大正元)	木版	18.0×11.7	
6 香山小鳥	【木立】 / EX-LIBRIS	1912(明治45/大正元)	木版	13.6×7.9	
7 香山小鳥	恩地孝四郎あて葉書	(明治45年6月19日付)	ペン、水彩	14.0×9.0	
8 香山小鳥	土岡泉あて葉書	(明治45年7月5日付)	ペン	14.0×9.0	
9 香山小鳥	恩地孝四郎あて葉書	(明治45年7月6日付)	ペン	14.0×9.0	
10 香山小鳥	土岡泉あて葉書	(明治45年7月8日付)	ペン	14.0×9.0	
11 香山小鳥	土岡泉あて葉書	(明治45年7月27日付)	水彩	14.0×9.0	
12 香山小鳥	土岡泉あて葉書	(明治45年7月30日付)	ペン、墨	14.0×9.0	
13 香山小鳥	恩地孝四郎あて葉書	(大正1年8月4日付)	ペン	14.0×9.0	
14 香山小鳥	土岡泉あて葉書	(大正1年9月4日付)	ペン、水彩	14.0×9.0	
15 香山小鳥	田中恭吉あて葉書	(大正1年9月4日付)	ペン、水彩	14.0×9.0	
16 香山小鳥	竹久夢二あて葉書	(大正1年10月6日付)	木版	14.0×9.0	
17 香山小鳥	田中恭吉あて葉書	(大正1年9月14日付)	ペン、モノタイプか	14.0×9.0	
18 香山小鳥	恩地孝四郎あて葉書	(大正1年10月6日付)	木版	14.0×9.0	
19 香山小鳥	恩地孝四郎あて葉書	(大正2年1月19日付)	水彩、ペン	14.0×9.0	
20 香山小鳥	【花瓶と花 年賀状試摺】	1912(明治45/大正元)	木版	16.0×15.9	
21 香山小鳥	【花瓶と花 年賀状・緑】	1912(明治45/大正元)	木版	14.3×9.0	
22 香山小鳥	【花瓶と花 年賀状・青】	1912(明治45/大正元)	木版	14.2×9.2	
23 香山小鳥	田中恭吉あて年賀状	(大正2年1月1日付)	木版	14.0×9.0	
24 香山小鳥	【風景】	1912(明治45/大正元)頃	水彩	17.6×28.5	
25 香山小鳥	【若き女】	1912(明治45/大正元)頃	モノタイプ	14.3×9.2	
26 香山小鳥	【少女】	1912(明治45/大正元)頃	モノタイプ	12.5×9.0	
27 香山小鳥	【人形】	1912(明治45/大正元)頃	木版	14.2×9.4	
28 香山小鳥	【男の首】	1912(明治45/大正元)頃	木版	11.2×7.3	
29 香山小鳥	桑芽	1912(明治45/大正元)頃	木版	8.0×14.1	
30 香山小鳥	【女】	1912(明治45/大正元)頃	木版	8.2×11.6	
31 香山小鳥	太陽の下	1912(明治45/大正元)	木版	16.2×11.1	
32 香山小鳥	【灯台】	1912(明治45/大正元)頃	木版	7.8×10.9	
33 香山小鳥	夕照一	1912(明治45/大正元)頃	木版	8.1×11.5	
34 香山小鳥	【耕作】	1912(明治45/大正元)頃	木版	8.2×11.6	
35 香山小鳥	【風景】	1912(明治45/大正元)頃	木版	7.8×11.4	
36 香山小鳥	詩画集「お前は何処から」	1912(明治45/大正元)	水彩	20.2×11.8	
37 香山小鳥	EX-LIBRIS たとう	1912(明治45/大正元)頃	木版	19.8×25.8	
38 香山小鳥	EX-LIBRIS 試摺	1912(明治45/大正元)頃	木版	8.4×14.5	
資料1 香山小鳥	版木【木立】	1912(明治45/大正元)頃			
39 香山小鳥	EX-LIBRIS 下絵	1912(明治45/大正元)頃	ペン	5.7×4.5	
40 香山小鳥	EX-LIBRIS	1912(明治45/大正元)頃	木版	5.8×4.6	
41 香山小鳥	EX-LIBRIS	1912(明治45/大正元)頃	木版	6.1×4.7	
42 香山小鳥	【風景】	1911(明治44)	油彩	20.0×14.8	
43 香山小鳥	愁	1913(大正2)	木版	12.4×8.5	
44 香山小鳥	【木立】回覧雑誌『密室』第6号 所収	1913(大正2)	木版	15.0×10.7	
45 香山小鳥	習作 回覧雑誌『密室』第6号 所収	1913(大正2)	木版	14.9×11.8	
46 香山小鳥	習作 公刊『月映』VI(1915.5)所収	1915(大正4)	木版	15.0×11.8	
47 香山小鳥	深川の冬	1913(大正2)頃	木版	26.2×19.5	
48 香山小鳥	竹久夢二・たまきあて葉書	(大正2年3月4日付)	ペン	14.0×9.0	
資料2 伊上凡骨(彫)	藤島武二『毒草』(与謝野鉄幹・晶子著)巻頭画	1904(明治37)			
49 香山小鳥	黒田清輝『鏡子寫の内』『光風』第1号(白馬会編集部)所収	1905(明治38)			
50 香山小鳥	和田英作『夕空』『光風』第2号(白馬会編集部)所収	1905(明治38)			
51 香山小鳥	長原孝太郎『朝韻』『光風』第3号(白馬会編集部)所収	1905(明治38)			
52 香山小鳥	藤島武二『洛東の春色』『光風』第4号(白馬会編集部)所収	1905(明治38)			
資料3 伊上凡骨(彫)	中澤弘光『京の舞子』『光風』第2巻第1号(白馬会編集部)所収	1906(明治39)			
53 香山小鳥	【花】	1915(大正4)	油彩	33.0×24.0	
54 香山小鳥	【眠る女】	1915(大正4)頃	油彩	32.2×23.3	
55 香山小鳥	『密室』第2号 扉	1913(大正2)	インク、パステル	17.6×10.4	
56 香山小鳥	【女】回覧雑誌『密室』第5号 所収	1913(大正2)	インク	8.8×12.7	
資料4 伊上凡骨(彫)					個人蔵
資料5 伊上凡骨(彫)					
資料6 伊上凡骨(彫)					
資料7 伊上凡骨(彫)					

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
166 逸見享	幸福な海女の群	1919(大正8)	木版	19.5×15.2	
167 逸見享	二月	1922(大正11)	木版	13.4×18.1	
168 逸見享	風景 [『風』創刊号所収分と同版]	1927(昭和2)	木版	12.1×18.1	
169 逸見享	[風景]	1925(大正14/昭和元)	木版	21.0×14.7	
170 逸見享	雪	1922(大正11)	木版	15.1×19.7	
171 逸見享	風景	1927(昭和2)頃	木版	22.9×29.8	
172 逸見享	夜汽車	1922(大正11)	木版	16.5×13.5	
173 逸見享	枯木	1927(昭和2)	木版	22.6×16.5	
174 逸見享	風景 再刊『風』第3号所収分と同版・自摺	1929(昭和4)	木版	16.7×13.1	
175 逸見享	房州の女	1922(大正11)	木版	22.7×30.3	
176 逸見享	静物	1928(昭和3)	木版	30.2×37.8	
177 逸見享	街角 再刊『風』第1号所収分と同版・自摺	1922(大正11)	木版	15.1×12.1	
178 逸見享	上海風景	1928(昭和3)	木版	24.0×31.0	
179 逸見享	食卓	1928(昭和3)	木版	13.5×10.6	
180 逸見享	蘇州風景	1929(昭和4)	木版	22.7×30.3	
181 逸見享	橋畔 『詩と版画』第9号 所収	1925(大正14)	木版	17.6×12.5	
資料15 逸見享	くさむら 『詩と版画』第10号 所収	1925(大正14)			
資料16 逸見享	旅情 『詩と版画』第13号 所収	1925(大正14)			
182 逸見享	風景 『風』第1号 所収	1927(昭和2)	木版	12.1×18.2	
183 逸見享	『詩と版画』第11号 装画	1925(大正14)	木版	26.6×19.2×0.4	
184 逸見享	牛込見附 「新東京百景」第1輯第14号	1929(昭和4)	木版	18.2×24.2	
185 逸見享	本郷元町展望公園 「新東京百景」第3輯第25号	1931(昭和6)	木版	24.0×18.1	
186 逸見享	植物園 「新東京百景」第1輯第6号	1929(昭和4)	木版	18.2×24.3	
187 逸見享	神樂坂 「新東京百景」第1輯第22号	1929(昭和4)	木版	24.2×18.2	
188 逸見享	靈南坂 「新東京百景」第2輯第17号	1930(昭和5)	木版	17.9×24.1	
189 逸見享	東京府美術館 「新東京百景」第3輯第19号	1931(昭和6)	木版	18.2×24.1	
190 逸見享	四谷見附雨景 「新東京百景」第3輯第2号のA.P.]	1930(昭和5)	木版	18.2×24.1	
191 逸見享	明治神宮表参道 「新東京百景」第4輯第17号	1931(昭和6)	木版	18.0×24.2	
192 逸見享	戸山ヶ原 「新東京百景」第4輯第11号と同版]	1931(昭和6)	木版	18.0×24.0	
193 逸見享	海邊の朝	1929(昭和4)	木版	21.2×27.4	
194 逸見享	海村風景	1929(昭和4)	木版	22.3×28.9	
195 逸見享	風景 (和泉の家)	1930(昭和5)	木版	12.3×16.8	
196 逸見享	静物(ざくろとぶどう) [「きつとき」第2輯所収分と同版]	1930(昭和5)頃	木版	12.1×12.2	
197 逸見享	風景 (多摩川)	1930(昭和5)	木版	10.9×10.9	
198 逸見享	[公園]	1927(昭和2)頃	木版	27.5×36.7	
199 逸見享	風景 (河畔への道)	1930(昭和5)頃	木版	27.5×33.3	
200 逸見享	多摩川 (和泉)	1933(昭和8)	木版	29.1×37.8	
201 逸見享	サボテンのある風景	1932(昭和7)	木版	44.0×33.5	
202 逸見享	風景	1930(昭和5)頃	木版	28.9×37.8	
203 逸見享	サボテン	1933(昭和8)	木版	44.0×30.9	
204 逸見享	公園／公園小景	1931(昭和6)	木版	21.4×27.4	
205 逸見享	海岸工事	1932(昭和7)	木版	33.5×27.5	
206 逸見享	若荷	1935(昭和10)頃	木版	32.9×25.2	
207 逸見享	ベンチ		木版	15.8×15.0	
208 逸見享	躉	1936(昭和11)	木版	24.2×30.3	
209 逸見享	水郷風景	1939(昭和14)頃	木版	22.6×28.8	
210 逸見享	ひのみ	1931(昭和6)	木版	16.7×12.2	
211 逸見享	農大実習場 [墨版]	1935(昭和10)	木版	17.0×18.8	
212 逸見享	農大実習場	1935(昭和10)	木版	15.3×14.6	
資料17 逸見享	版木《躉》 5版8色摺	1936(昭和11)			
213 逸見享	ねぎばたけ	1935(昭和10)	木版	13.7×13.6	
214 逸見享	波太小景	1937(昭和12)	木版	9.0×12.1	
215 逸見享	浜・波太風景	1937(昭和12)	木版	36.0×46.6	
216 逸見享	砂丘	1933(昭和8)	木版	36.3×48.3	
217 逸見享	熱海風景	1933(昭和8)	木版	34.4×45.4	
218 逸見享	茅ヶ崎風景 (防風林)	1934(昭和9)	木版	31.8×40.7	
219 逸見享	犬吠崎晩夏 「新日本百景」所収分と同版別摺	1938(昭和13)	木版	22.8×30.4	
220 逸見享	潮来晚秋 「新日本百景」所収分と同版別摺	1939(昭和14)	木版	22.8×30.3	
221 逸見享	潮来晚秋13 「新日本百景」13	1939(昭和14)	木版	22.7×30.0	
222 逸見享	『水韻譜』 オイ書房十周年記念 書窓版画帖十連聚其七	1942(昭和17)	木版	27.2×21.3	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
料18 逸見享	エッセイ「大手折のこと」 『書窓』第1巻第4号 所収	1935(昭和10)			
223 逸見享	築地小景 『書窓』第2巻第2号 所収	1935(昭和10)	木版		14.9×11.9×0.5
料19	「逸見享版画集」頒布について チラシ 序文:山本鼎	1934(昭和9)			



会場風景

4. 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展

会期：1999年8月14日(土)～9月12日(日)
 休館日：月曜日
 主催：和歌山県立近代美術館
 協力：(株)山長商店
 会場：展示室C
 観覧料：一般810(660)円／高大生510(400)円／小中生310(250)円
 ()内は20名以上の団体料金、高齢者(65歳以上)、障害者は無料
 関連事業：公開制作
 4月30日(金)～5月13日(木) 1階エントランスホール、大階段踊り場
 北堅吉彦による《熊野一moegi(萌黄)》《山並一senkoushu(鮮光朱)》制作
 コンサート
 8月14日(土) 18:00 1階展示ホール
 出演：山口恭範、吉原すみれ
 8月24日(土) 13:30 15:00 1階展示ホール
 出演：奥野二美、川島加奈代
 ミュージアム・トーク(寺口淳治)
 9月11日(土) 14:00 美術館ホール
 印刷物：ちらし(A4判)
 出品目録(A4判)
 図録(A4判 31ページ)
 はじめに
 図版
 出品目録
 配置図
 「熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦」展によせて／寺口淳治
 年譜、文献
 担当学芸員：寺口淳治
 趣旨：二人の現代作家の表現を通して、熊野の深層とその魅力を探った。
 関連記事：北堅吉彦氏の作品完成へ、和歌山新報 1面、1999.7.14
 「熊野の音+熊野の色」展、和歌山新報 文化、1999.8.11
 熊野の魅力、音と色彩で、産経新聞 29面、1999.8.15
 京都にこだわる造形作家 場所とのつながり表現 熊野にひかれた彫刻家と画家、
 讀賣新聞(夕刊) 11面、1999.8.18
 「感じた熊野の静寂」音と色に子供たち大喜び、和歌山新報 7面、1999.8.27
 熊野の音と色 感じて 県立近代美術館「たたける彫刻」人気 来月12日まで、
 朝日新聞13面、1999.8.31
 熊野の音と色 彫刻、絵画で実感 県立近代美術館で特別展 讀賣新聞29面、
 1999.9.1
 ワイド・ナウ 毎日新聞(夕刊) 2面、1999.9.1
 早瀬廣美「塗り重ね、“色を描く”一画家、北堅吉彦氏の方法」、産経新聞
 15面 トピックス、1999.9.5
 SOUND AND COLOR FROM TO KUMANO/MASUDA KAN AND KITANO
 YOSHIHIKO, MAINICHI DAILY NEWS, 1999.8.24, ARTS.

出品リスト

作家名

作品名

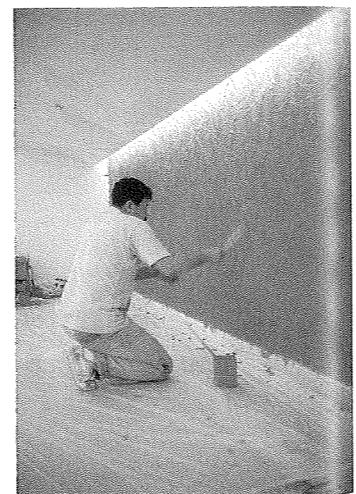
制作年

技法・材質

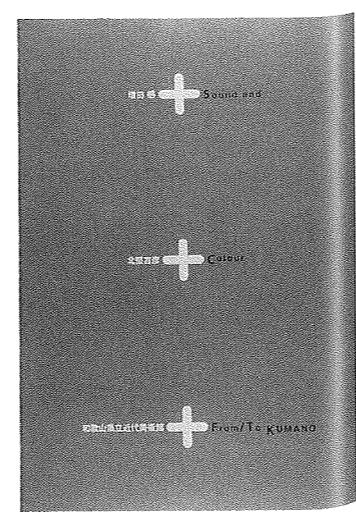
寸法(cm)

備考

1 増田感	四柱	1999	木(ひのき)	高さ各209
2 増田感	音の井	1999	木(ひのき)	50×190×190
3 増田感	音の門	1999	木(ひのき)	208×175×45
4 増田感	こもりく	1999	木(ひのき)	高さ337
5 増田感	音のくみおき	1999	木(ひのき)	50×318×50
6 増田感	音柱I	1999	木(ひのき)	高さ210
7 増田感	音柱II	1999	木(ひのき)	高さ218
8 増田感	音柱III	1999	木(ひのき)	高さ217
9 増田感	音柱IV	1999	木(ひのき)	高さ206
10 増田感	対音柱	1999	木(ひのき)	高さ218
11 増田感	空洞	1999	木(ひのき)	高さ210
12 増田感	音のありか	1999	木(ひのき)	高さ213
13 増田感	音柱V	1999	木(ひのき)	高さ218
14 増田感	音柱VI	1999	木(ひのき)	高さ205
15 増田感	界壁	1999	木(ひのき)	高さ220
16 増田感	音の口'99	1999	木(ひのき)	高さ211
17 増田感	音の切り口I	1999	木(ひのき)	高さ225
18 増田感	音の切り口II	1999	木(ひのき)	高さ208
19 増田感	音の切り口III	1999	木(ひのき)	高さ214
20 増田感	音の切り口IV	1999	木(ひのき)	高さ200
21 増田感	香柱	1999	木(ひのき)	高さ200
22 増田感	砲響	1999	木(ひのき)	52×356×52
23 増田感	ふせがめ	1985	木(さくら、ひのき、みずなら、けやき、みずめ、とち、かえで、かし、ぶな)	265×262×262
24 増田感	五童	1985	木(さくら)	5点組各65×35.5×35.5
25 増田感	風の座	1985	木(つが、しで)	93×165×101
26 増田感	風紋鏡	1985	木(みずめ、さかき、さくら)	130×237×180
27 増田感	絃声林	1996	木(ひのき)	高さ400
28 北堅吉彦	茂み-chrome green(クロームグリーン)	1995	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	365.0×115.0×8.5
29 北堅吉彦	熊笹-kiniro(金色)	1999	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	145.5×112.1×6.7(F80号)
30 北堅吉彦	Untitled-momoiro(桃色)	1992	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	259.1×193.9×6.5(F200号)
31 北堅吉彦	Untitled-shiro(白)	1995	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	145.5×112.1×5.3(F80号)
32 北堅吉彦	絵画浴-kuro(黒)	1995	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	260.0×210.0×6.5
33 北堅吉彦	大根の葉-enjiro(臘脂色)	1997	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	227.3×363.6×7.7
34 北堅吉彦	巣-tanpopoipo(蒲公英色)	1995	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	365.0×115.0×8.9
35 北堅吉彦	Untitled-shuairo(朱色)	1992	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	145.5×112.1×5.3(F80号)
36 北堅吉彦	Untitled-deep and deep green	1990～1999	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	259.1×181.8×6.5(P200号)
37 北堅吉彦	百間ぐら-gin(銀)	1999	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	(5枚組各)291.0×200.0
38 北堅吉彦	熊野-moegi(萌黄)	1989～1999	キャンバスを張った変形ウッドパネルに油彩	116.7×91.0×11.5(F50号)
39 北堅吉彦	山中-kiniro(金色)	1999	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	24.2×33.3×6.4(F4号)
40 北堅吉彦	雑草-臘脂色	1998	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	181.8×227.3×6.8(F150号)
41 北堅吉彦	Untitled-Bordeaux(ボルドー)	1992～1999	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	259.1×193.9×6.4(F200号)
42 北堅吉彦	Untitled-ikkonzomeiro(一斤染色)	1991	キャンバスを張ったウッドパネルに油彩	193.9×162.1×6.5(F130号)
43 北堅吉彦	山並一senkoushu(鮮光朱)	1999	壁面に油彩	170×1020
44 北堅吉彦	熊野-moegi(萌黄)	1999	キャンバスをまいいた柱に油彩	3点各円周320×高270



北堅吉彦公開制作



図録



会場風景

7. 越境する想像力 素材との出会い

会期：1999年12月21日(火)～2000年1月30日(日)

休館日：月曜日

主催：和歌山県立近代美術館

会場：階展示室C

観覧料：常設展と共に

関連事業：ミュージアム・トーク(安來正博)

1月15日(土) 14:00 美術館ホール

印刷物：案内ハガキ

パンフレット(A6判 16頁)

出品目録

担当学芸員：安來正博

趣旨：美術家の想像力は、さまざまな素材との出会いによって刺激される。画家や彫刻家の作品制作のプロセスと素材の関係を、作品の多様な表現を通して探り、紹介した。

関連記事：企画展「越境する想像力 素材との出会い」 中外日報 1999.12.11 14面

企画展「越境する想像力 素材との出会い」 和歌山新報 1999.12.18 3面

越境する想像力 素材との出会い 県立近代美術館で企画展21日から 朝日新聞
1999.12.18 24面

想像力と素材の出会いテーマにきょうから近代美術館で企画展 ニュース和歌山
1999.12.21 3面

近代美術館企画展「越境する想像力 素材との出会い」1月30日まで

和歌山新報 1999.12.22 3面

Encounters with medieums : border-crossing imagination MAINICHI DAILY

NEWS ARTS 1999.12.21 p.9.

近代美術館企画展「越境する想像力 素材との出会い」1月30日まで

和歌山新報 1999.12.22 3面

越境する想像力 素材との出会い 每日新聞 2000.1.5 2面

30日まで県立美術館企画展 想像力と素材の関係を表現 和歌山新報

2000.1.11 4面

「越境する想像力」展 韻きある多彩な館蔵品 日本経済新聞(夕刊)

2000.1.11

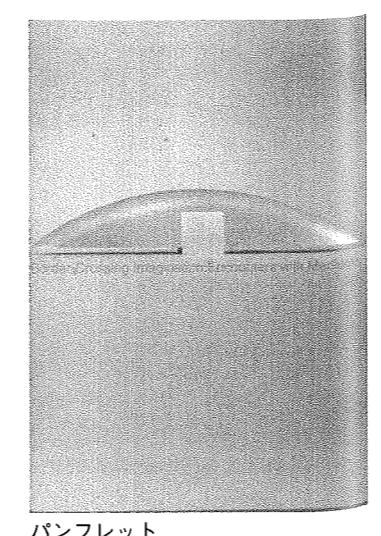
越境する想像力 素材との出会い 近代美術館で 紀伊新聞 2000.1.11 2面

現代美術をやさしく解きほぐす「越境する想像力 素材との出会い」展

産経新聞 2000.1.23 15面

「越境する想像力 素材との出会い」 今週のオススメ展覧会コーナー

月刊ギャラリーウェブマガジンホームページ 1999.12.20～2000.1.30



パンフレット

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1. 物質としての素材					
1-1. 彫刻家と素材					
1 小清水漸 浮くかたち 1984(昭和59) 木 75.0×200.0×90.0 2 江口週 飛翔のはじまり 1981(昭和56) 木 203.0×57.0×53.0 3 建畠覚造 CLOUD 3 (大) 1981(昭和56) 木 38.0×182.0×44.0 4 建畠覚造 CLOUD 5 (大) 1983(昭和58) 木 134.0×110.5×78.5 5 植木茂 モードス 1949(昭和24) 木 57.5×27.0×22.0 6 豊福知徳 円柱 I 1965(昭和40) 木 296.0×49.0×49.0 7 カロ、アンソニー カタロニアのふぶき 1987-88(昭和62-63) 鉄 105.5×63.5×71.0 8 土谷武 向かい風IV 1981(昭和56) 鉄、木 157.5×82.5×107.0 9 土谷武 蟬 I 1981(昭和56) 鉄 69.0×190.0×68.0 10 宮崎豊治 身辺モデル 1986(昭和61) 鉄、うるし着色 120.0×225.0×103.0 11 堀内正和 四つの立方体 (線) 1979(昭和54) 鉄 85.0×208.0×98.0 12 鈴木久雄 単錐台-II 1984(昭和59) 鉄 115.0×120.0×120.0 13 清水九兵衛 WIG 7 1980(昭和55) アルミニウム 19.5×97.5×12.0 14 建畠覚造 CHIMNEY BOTTLES 1970(昭和45) アルミニウム、ステンレス 63×66.3×20.2 15 保田春彦 作品3-71 1971(昭和46) 真鍮クローム、ホワイトメッキ 83.7×82.9×82.5 16 保田春彦 斜面のある風景 二題 1973(昭和48) ステンレス 各50.0×10.0×10.0 17 森口宏一 作品 1981(昭和56) ステンレス 200.0×73.0×250.0					
1-2. 素材としての絵の具 物質としてのキャンバス					
18 野田裕示 work-214 1984(昭和59) アクリル、パネル、木、布 116.0×166.0 19 野田裕示 work-299 1987(昭和62) アクリル、木、キャンバス 227.0×182.0×1.0 20 前川強 作品 1963(昭和38) 麻布、油彩、キャンバス 162.0×130.0 21 白髪一雄 地察星青眼虎 1961(昭和36) 油彩、キャンバス 194.0×130.0 22 加納光於 まなざし－疼く飛沫を連れ 九月 1989(平成元) 油彩、キャンバス 195.0×130.0 23 グリーン、アラン 3つと4つ 1989(平成元) 油彩、キャンバス 155.0×160.0 24 中西夏之 L 0 R、目前のひびき I-III 1988(昭和63) 油彩、キャンバス 各194.0×146.5 25 ヴィアラ、クロード コンポジション 1988(昭和63) 油彩、キャンバス 300.0×350.0					
2. イメージとしての素材					
2-1. オブジェ、あるいは素材としての現実					
26 建畠覚造 儀式 (小) 1972(昭和47) アルミニウム、ステンレス、革 64×50.2×40.2 27 中村康平 Resurrection 1991(平成3) 陶 53.0×41.0×55.0 28 川上力三 座考シリーズ－空中棲闇－ 1983(昭和58) 陶 40.0×50.0×50.0 29 川上力三 作品 1974(昭和49) 陶 38.0×19.0×20.0 30 中西夏之 コンパクト・オブジェ (卵) 1962-66(昭和37-41) ポリエステル樹脂、オブジェ 23.5×14.5×14.5 31 加納光於 アララットの船 1971-72(昭和46-47) オブジェ 68.0×44.7×23.6 32 アルマン 黄色のチューブ 1960(昭和35) 樹脂、絵の具チューブ 44.7×25.0×6.0 33 ポイル、マーク 黒いふち石の研究 1980-81(昭和55-56) 彩色、ファイバーグラス 182.4×183.2 34 リキテンスタイン、ロイ クラック！ 1964(昭和39) オフセットリトグラフ、紙 47.7×69.0 35 リキテンスタイン、ロイ おやすみベイビィ！ 1965(昭和40) シルクスクリーン、紙 90.4×64.5 36 リキテンスタイン、ロイ メロディ 1965(昭和40) シルクスクリーン、紙 69.2×58.0 37 ダイン、ジム 10の冬の道具 1973(昭和48) 石版、紙 各70.9×55.3 38 ダイン、ジム 14色の木版によるバスロープ 1982(昭和57) 木版、紙 175.2×107.3 39 ラウシェンバーグ、ロバート 『時事問題の相貌』 (3点) 1970(昭和45) シルクスクリーン、紙 各101.6×101.6 40 ジョーンズ、ジャスパー 第一のエッティング連作 1967-68(昭和42-43) 銅版、紙 64.8×50.8 41 西村陽平 百科事典につぶされた松本清張 1990(平成2) 紙 30.2×20.0×14.0 42 ピカソ、パブロ 『聖マトヘル』より：長椅子のレオニー嬢 1910(明治43) 銅版、紙 19.8×14.2					
2-2. 想像力の源泉としての物語					
43 ダイン、ジム 『ドリアン・グレイの肖像』 1968(昭和43) 石版、紙 44.1×31.1 44 シャーン、ベン リルケ『マルテの手記』より：一行の詩のためには… 1968(昭和43) 石版、紙 56.8×45.1					

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
45 ホックニー, デヴィッド	『6つのグリム童話』	1969(昭和44)	銅版、紙	50.0×64.0	
46 マクレーン, ブルース	『DREAM WORK』	1985(昭和60)	シルクスクリーン、紙	42.0×31.8	
47 マクレーン, ブルース	『LADDER』	1986(昭和61)	シルクスクリーン、紙	28.1×27.5	
48 マクレーン, ブルース	『APROPOS THE JUG』	1988(昭和63)	空押し、エッチング、手彩、紙	14.4×28.2	
49 マクレーン, ブルース	『A VERTICAL BALCONY A REAL GAZEBO』	1990(平成2)	シルクスクリーン、手彩、紙	34.0×28.0	
50 マクレーン, ブルース	『A SCONE OFF A PLATE』	1990(平成2)	シルクスクリーン、手彩、紙	31.0×28.6	
51 ルオー, ジョルジュ	『ミゼレーレ』	1922-27(大正11-昭和2)	銅版、紙	65.5×50.5	
52 ルドン, オディロン	『聖アントワーヌの誘惑第3集』	1896(明治29)	石版、紙	57.0×40.0	

8. コレクションにみる芸術と社会

会期：2000年2月15日(火)～3月19日(日)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

主催：和歌山県立近代美術館

会場：展示室C

観覧料：常設展と共に

関連事業：ミュージアム・トーク(奥村一郎)

2月19日(土) 3月11日(土) 18日(土)

14:00 2F展示室

印刷物：案内ハガキ

出品目録(A4判)

パンフレット(A5版 8ページ)

本文／奥村一郎

図版

担当学芸員：奥村一郎

趣旨：芸術作品には、社会に対してさまざまな問題を投げかける働きがある。この展覧会では、そのような作品を中心に芸術作品と社会との関係を探り、紹介した。

関連記事：コレクションにみる芸術と社会 朝日新聞 夕刊 2000.2.10 6面

コレクションにみる芸術と社会 産経新聞 2000.2.11 23面

コレクションにみる芸術と社会 和歌山新報 2000.2.12 2面

芸術と社会テーマに ニュース和歌山 2000.2.17 6面

時代をうつす作品140点 版画や絵画など展示 県立近代美術館が企画

朝日新聞 2000.2.17 22面

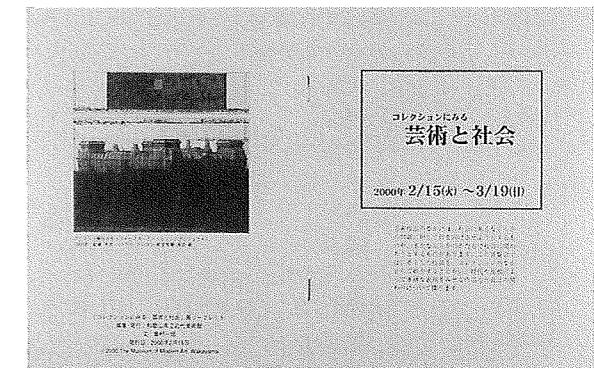
コレクションにみる芸術と社会 和歌山新報 2000.2.19 3面

渡辺達治「社会への働きかけ模索 和歌山県立近代美術館 近現代44作家の企画展」

讀賣新聞(夕) 2000.3.10 11面



会場風景



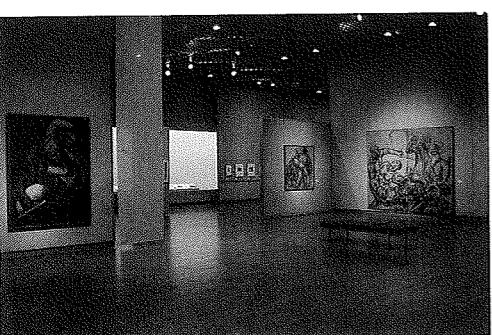
パンフレット

展覧会事業 常設展

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
70 深沢幸雄	墮天使	1959(昭和34)	ディープエッチング他・紙	36.5×36.4	
71 深沢幸雄	浮かぶ秘呪	1959(昭和34)	エッチング・メゾチント他・紙	36.6×29.9	
72 深沢幸雄	繫縛	1959(昭和34)	エッチング・アクアチント他・紙	36.6×36.6	
73 銀暉	鉄骨とクレーンと人と群集	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	116.5×91.5	
74 銀暉	鉄骨・ウインチ・2人	1956(昭和31)	リトグラフ・紙	42.9×27.5	
75 銀暉	鉄骨	1957(昭和32)	リトグラフ・紙	39.7×52.8	
76 銀暉	骨を持つ人(C)	1955(昭和30)	リトグラフ・紙	54.3×39.7	
77 池田満寿夫	空ろなる真昼(王国)	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	72.7×53.0	
78 加藤正	都市の残光	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	90.8×90.7	
79 加藤正	聖者が街にやって来た	1958(昭和33)	リトグラフ・紙	49.5×36.5	
80 加藤正	規格品	1956(昭和31)	リトグラフ・紙	48.6×35.2	
81 池田龍雄	鬼も忙し地獄の整地	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	145.5×112.2	
82 福沢一郎	なげきの市I	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	181.5×227.0	
83 福沢一郎	喪失する室内	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	181.7×227.0	
84 玉置正敏	[浜の男 下図]	1959(昭和34)以前	コンテ・水彩・紙	97.0×130.0	
85 吉田利次	[不明]	制作年不明	エッチング・紙	50.1×38.2	受託作品
86 吉田利次	[不明]	制作年不明	エッチング・紙	23.7×36.0	受託作品
87 吉田利次	剥離される風景 III	1972(昭和47)	ディープエッチング・メゾチント・紙	11.9×18.2	受託作品
88 中林忠良				54.5×49.6	

さまざまな方法、試み

89 クリスト	包まれた遊歩道／ダブリンのプロジェクト	1983(昭和58)	リトグラフ・布・紙	71×112	
90 クリスト	畳まれた畳／フリダ・マヤミ、ビスケン漁のためのプロジェクト	1983(昭和58)	鉛筆・パステル・クレヨン・グワッシュ・布・航空写真・紙	44.6×165.0	
91 クリスト	梱包されたポン・ヌフ／パリのプロジェクト	1985(昭和60)	鉛筆・木炭・パステル・クレヨン・航空写真・紙	38×244／106.6×244	
92 クリスト	梱包されたライヒスターク／ベルリンのプロジェクト	1986(昭和61)	鉛筆・木炭・パステル・クレヨン・地図・紙	38×165／106.6×165	
93 クリスト	ワーマンハッタンの梱包されたビル／マンハッタンのプロジェクト	1990(平成2)	リトグラフ・生地・糸・地図	101.5×66	
94 フルトン, ハミッシュ	山の辺の道	1986(昭和61)	写真・テキスト	139×110	
95 フルトン, ハミッシュ	ラガジャー	1987(昭和62)	写真・テキスト	147×119	
96 アックリング, ロジャー	潮岬	1996(平成8)	木・太陽光線	12.8×7.8×4.0	
97 アックリング, ロジャー	潮岬	1996(平成8)	木・太陽光線	34.2×3.6×1.1	
98 川俣正	アパートメント・プロジェクト、テトラハウス N-3W-26 1983年8月～9月札幌	1983(昭和58)	リトグラフ・紙	50×65	
99 川俣正	P.S.1プロジェクト 1985年4月～9月、ニューヨーク	1985(昭和60)	リトグラフ・紙	50×65	
100 川俣正	スパイ・プロジェクト 1986年5月～7月 デン・バーグ	1986(昭和61)	リトグラフ・紙	50×65	
101 川俣正	壊された教会 1987年3月～9月 ドクメンタ8、カッセル	1987(昭和62)	リトグラフ・紙	50×65	
102 クルーガー, パーバラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	ビニール・シルクスクリーン	378.5×268	
103 シャーマン, シンディ	無題	1983(昭和58)	Cプリント	241.5×115.5	
104 シャーマン, シンディ	無題	1983(昭和58)	Cプリント	175.5×115.5	
105 シャーマン, シンディ	無題#132	1984(昭和59)	Cプリント	183.5×125.5	
106 ルフ, トマス	肖像(G.ベルツ)	1988(昭和63)	Cプリント	210×165	
107 ルフ, トマス	肖像(J.バウムガルトナー)	1989(平成元)	Cプリント	210×165	
108 ホルツァー, ジェニー	インダミタブル・スピリット・ポートフォリオ Selection from the Survival Series	1983-85(昭和59-60)		65.2×54.6×5.0	
109 ウォール, ジエフ	インダミタブル・スピリット・ポートフォリオ The Outburst	1989(平成元)	チバクロームプリント	45.9×61.5	
110 セラーノ, アンドレ	インダミタブル・スピリット・ポートフォリオ Blood and Semen	1990(平成2)	チバクロームプリント	50.8×61	
111 チャヴェス, エステバン	INTELLECTUAL AIDS STUDY QUILT	1992(平成4)	フォトエッチング・エンゲレービング	134.9×271.5	
112 ポルタンスキー, クリスチャン	モニュメント4(赤)	1986-90(昭和56-平成2)	写真、電球、電線、鉄	207.7×70.2×7.7	



会場風景

1999年度常設展一覧

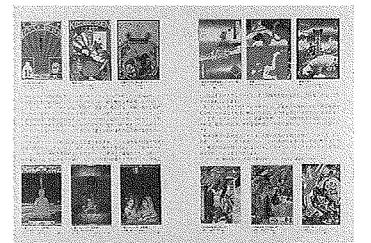
1. 美術館へ行こう1

会期：1999年4月20日(火)～7月20日(祝)
休館日：月曜日
主催：和歌山県立近代美術館
会場：1階展示室AB他館内
コーナー展示：『音のある作品』
カンディンスキーの《響》など、音楽や音と関わりの深い作品を紹介し、作品のなかにあらわれるリズムや音色の楽しみを提示した。
印刷物：コレクション・リーフレット(A5版 4ページ)
担当学芸員：奥村一郎



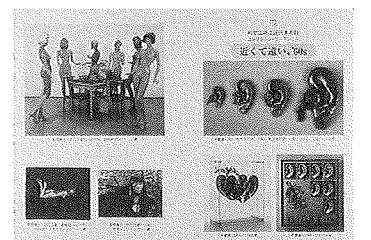
2. 美術館へ行こう2

会期：1999年7月27日(火)～10月17日(日)
休館日：月曜日
主催：和歌山県立近代美術館
会場：1階展示室AB他館内
コーナー展示：『横尾忠則 変貌する版画』
グラフィック・デザイナー、版画家、そして画家として、常に新しい地平を切り開く作品を発表してきた横尾忠則の版画作品を紹介した。
印刷物：コレクション・リーフレット(A5版 4ページ)
担当学芸員：植野比佐見、浜田拓志



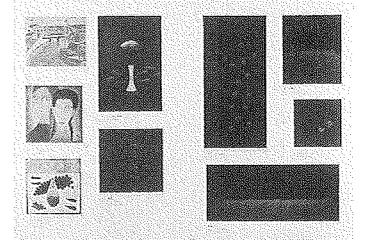
3. 美術館へ行こう3

会期：1999年10月26日(火)～2000年1月30日(日)
休館日：月曜日
主催：和歌山県立近代美術館
会場：1階展示室AB他館内
コーナー展示：『近くで遠い、60's(シックスティーズ)』
敗戦後の日本が高度経済成長を遂げ、「近代」の完成を目指した1960年代。そこに生きた美術家たちの苦悩と葛藤を紹介した。
印刷物：コレクション・リーフレット(A5版 4ページ)
担当学芸員：寺口淳治



4. 美術館へ行こう4

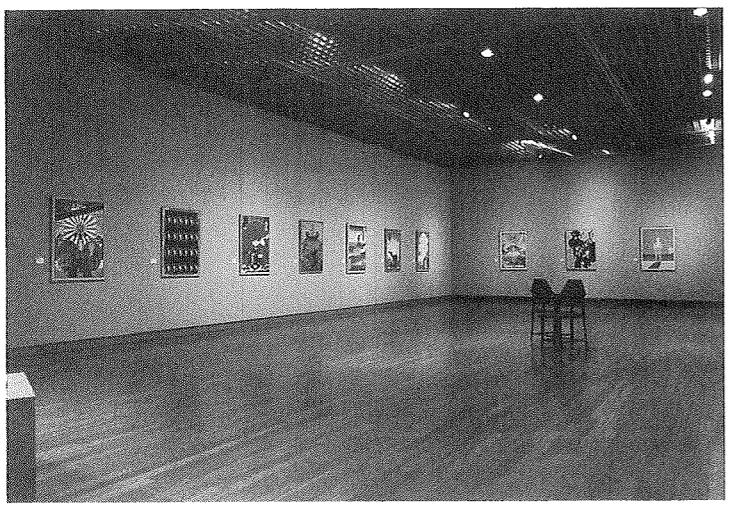
会期：2000年2月29日(火)～4月16日(日)
休館日：月曜日
主催：和歌山県立近代美術館
会場：1階展示室AB他館内
コーナー展示：『浜口陽三の世界』
深い闇のなかから静かに立ち現れるぶどうやちようちょ。色彩をとりいたれた銅版画で、国際的に高い評価をえている浜口陽三の作品を紹介した。
印刷物：コレクション・リーフレット(A5版 4ページ)
担当学芸員：浜田拓志



観覧料：一般310(250)円／高大生210(160)円／小中生100(80)円

() 内は20名以上の団体料金／高齢者(65才以上)および障害者は無料

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
160 カロ、アンソニー	カタロニアのふぶき(カタロニア・シリーズ)	1987-88(昭和62-63)	鉄	105.5×63.5×71	
161 金子潤	DANGO	1985(昭和60)	陶	67.5	
162 山口牧生	かたむくかたちA	1984(昭和59)	黒御影石・ベンガラ	180×76×51	
163 井上雅之	T-9216	1992(平成4)	陶	216×246×179	
164 建畠寛造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	270×170×75	
165 保田春彦	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	208×335×305	
166 保田春彦	聚落を囲う壁II	1994-5(平成6-7)	鉄	60×127.5×451.2	
167 スネルソン、ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレススチール・ワイヤー	250×360×955	



会場風景

美術館へ行こう3
1999年10月26日(火)～2000年1月30日(日)
出品リスト

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
川口軌外					
1 川口軌外	静物	1928(昭和3)頃	油彩・キャンバス	72.7×60.5	
2 川口軌外	半身	1927-29(昭和2-4)	油彩・キャンバス	91.5×73.0	
3 川口軌外	カーニバル	不明	油彩・紙	65.3×50.0	個人蔵
4 川口軌外	無花果	1933(昭和8)	油彩・キャンバス	38.2×61.2	
5 川口軌外	貝殻	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	80.3×115.5	
6 川口軌外	少女と子供	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	116.5×91.0	
7 川口軌外	魚商	1939(昭和14)頃	油彩・キャンバス	91.0×116.5	
8 川口軌外	静物	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	48.8×54.5	個人蔵
9 川口軌外	牡丹	1930(昭和5)年代	油彩・キャンバス	36.5×44.5	個人蔵
10 川口軌外	静物	1940(昭和15)年代	油彩・キャンバス	31.5×51.5	個人蔵
11 川口軌外	静物	1940(昭和15)年代	油彩・キャンバス	36.0×43.0	個人蔵
12 川口軌外	瀧峠	1963(昭和38)頃	油彩・キャンバス	45.5×53.0	
13 川口軌外	水浴する人たち	1955(昭和30)	油彩・キャンバス	116.2×81.0	個人蔵
14 川口軌外	人体	1957(昭和32)	油彩・キャンバス	130.5×89.4	
15 川口軌外	人体	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	116.8×80.3	個人蔵
16 川口軌外	円	1954(昭和29)頃	油彩・キャンバス	130.0×97.3	個人蔵
17 川口軌外	鳥と人	1959(昭和34)頃	油彩・キャンバス	116.0×79.5	個人蔵
18 川口軌外	群像	1959(昭和34)頃	油彩・キャンバス	117.0×80.2	個人蔵
19 川口軌外	群像	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	130.0×89.0	個人蔵
20 川口軌外	人	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	129.8×89.7	個人蔵
(10/26～12/12のみの展示)					
21 川口軌外	母と子	1927-30(昭和2-5)	グワッシュ・紙	65.3×50.0	
22 川口軌外	風景	1927-30(昭和2-5)	グワッシュ・紙	33.3×51.4	
23 川口軌外	デッサン3	1952(昭和27)頃	インク・墨・紙	54.9×39.8	
24 川口軌外	デッサン8	1953-60(昭和28-35)	インク・墨・紙	55.0×39.8	
25 川口軌外	デッサン10	1953-60(昭和28-35)	インク・墨・紙	55.0×39.8	
26 川口軌外	失題	1958(昭和33)	グワッシュ・墨・紙	58.1×38.5	
27 川口軌外	群像	1959(昭和34)頃	墨・鉛筆・紙	54.6×39.4	
28 川口軌外	群像	1959(昭和34)頃	墨・鉛筆・紙	54.7×39.1	
29 川口軌外	群像	1959(昭和34)	インク・墨・鉛筆・紙	54.0×38.4	
30 川口軌外	デッサン7	1960(昭和35)頃	インク・墨・紙	54.8×39.8	
(12/14～2000/1/30のみの展示)					
31 川口軌外	ひまわり	1931(昭和6)	グワッシュ・紙	65.0×49.8	
32 川口軌外	水浴	1924-28(大正13-3)	グワッシュ・紙	49.5×65.0	
33 川口軌外	デッサン9	1953-60(昭和28-35)	インク・墨・紙	55.0×39.8	
34 川口軌外	デッサン11	1953-60(昭和28-35)	インク・墨・紙	55.0×39.5	
35 川口軌外	デッサン6	1953-60(昭和28-35)	インク・墨・紙	55.0×36.7	
36 川口軌外	デッサン4	1958(昭和33)頃	インク・墨・紙	54.9×39.7	
37 川口軌外	失題	1959(昭和34)頃	グワッシュ・墨・紙	45.0×35.3	
38 川口軌外	群像	1959(昭和34)頃	インク・墨・鉛筆・紙	54.6×39.2	
39 川口軌外	群像	1959(昭和34)頃	墨・紙	54.4×39.0	
40 川口軌外	群像	1959(昭和34)頃	墨・鉛筆・紙	54.5×39.1	
和歌山ゆかりの作家と近代日本の美術					
41 保田龍門	アンドレの首	1922(大正11)	ブロンズ	20.3×20.0×20.0	
42 野長瀬晩花	被布着たる少女	1911(明治44)	顔料・絹・額装	114.1×134.8	
43 野長瀬晩花	大原女と舞妓	1916(大正5)頃	顔料・紙・軸装	137.2×33.8	
44 野長瀬晩花	舞妓図	不明	顔料・絹・軸装	133.5×30.8	
45 野長瀬晩花	門付け	1916(大正5)	顔料・紙・軸装	131.4×30.	
46 野長瀬晩花	桜の頃	不明	顔料・絹・軸装	131.5×41.3	
47 野長瀬晩花	島の女	1916(大正5)	顔料・絹・軸装	145.1×51.7	
48 野長瀬晩花	水汲みにゆく女 画稿	1926(昭和元)	墨・顔料・紙	53.4×55.1	
49 野長瀬晩花	舞妓図	1920(大正9)頃	顔料・絹・軸装	30.2×32.5	

友の会

内容：楽しみながら美術に親しむ会として「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、美術を愛する人々が集い、当館の活動を支援するとともに、美術作品を鑑賞し、語り合う場を設けることに協力した。

1. 会員の現状

維持会員	7名
一般会員	257人
学生会員	12人
賛助会員	3人
計	279人

2. 会員への助成事業

会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことができるよう常設展及び特別展の観覧並びに図録の購入に対し助成を行なった。

- (1) 展覧会入場延会員 578人
- (2) 図録購入 46冊

3. 研修事業

- (1) 特別展内覧会の開催
特別展プレビューを開催し、延100人の会員が観覧した。
- (2) 懇親パーティーの開催（参加者50人）
1999年12月25日（土）、近代美術館2階イタリアンレストラン「ペレンネ三年坂」において、作家安東菜々氏を招き参加者と歓談し、交流を行なった。
- (3) 版画のプレゼント
会員コレクションの一環として、作家安東菜々氏創作「ベンジャミン（シルクスクリーン）」を会員へプレゼントした。
- (4) 美術鑑賞ツアーの開催
平成11年度友の会美術鑑賞ツアーとして、2回行った。
ア、1999年6月19日（土）、熊野古道なかへち美術館及び田辺市立美術館を鑑賞し、田辺新庄シンボルパークを見学した。（参加者38人）
イ、1999年10月23日（土）、サントリーミュージアム〔天保山〕及び神戸市立小磯記念美術館、兵庫県立近代美術館を鑑賞し、北野・工房の町KOBEを見学した。（参加者40人）

(5) ミュージアムコンサートの開催

1999年11月27日（土）、近代美術館1階展示室において、ソプラノの西浦晴美氏、フルートの友安由香氏、ピアニストの津村洋子氏による「ソプラノとフルートの名曲コンサート」を開催し、約1時間半にわたって鑑賞した。（参加者115人）

4. 館公報紙・その他の情報提供事業

会員に、ミュージアムカレンダー（'99展覧会案内）、「美術館ニュース」（館広報誌年4回発行）その他特別展招待状などの情報を配布し、館事業等を案内した。

5. ボランティア活動

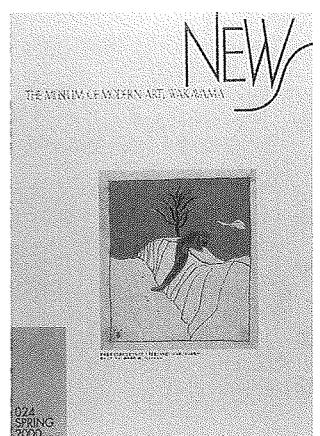
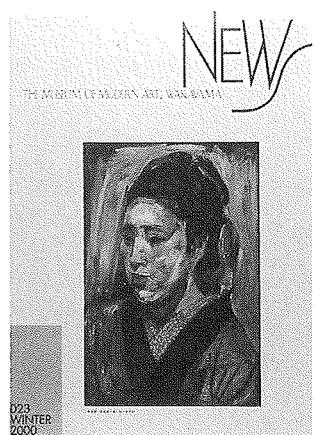
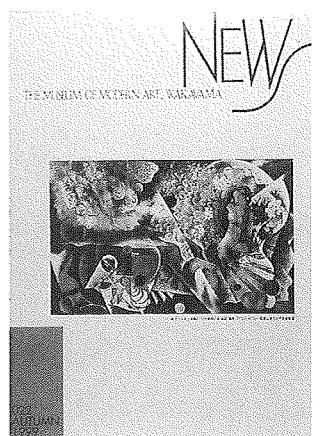
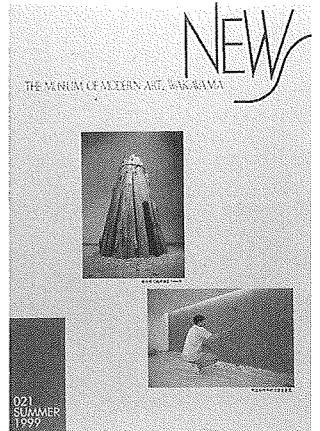
毎月第2土曜日午前10時より美術館にて、新聞の切り抜き、発送作業などのボランティアをおこなった。

機関誌「NEWS」

（付記のない執筆者は当館学芸員）

No.21（1999年8月15日発行）

サンセット・ミュージアム
日本尾近代版画 コレクション・ダイジェスト4から
一香山小鳥・藤森静雄・逸見享について— 井上芳子
「熊野の音十熊野の色 増田 感・北堅吉彦展」 寺口淳治
めいさく根堀葉堀展より—こんな団体さんがいた— 植野比佐見
美術館へ行こう1—音のある作品から— 奥村一郎
美術館の日常 展覧会のこと 安来正博
TOPICS 第28回現代日本美術展 和歌山県立近代美術館賞 奥村一郎
学校からの訪問 団体さんがとおる 植野比佐見



No.22（1999年10月31日発行）

「版との出会い デモクラート時代を振り返って」山中嘉一氏講演会より 安来正博
ある洋画家の軌跡／川口軌外展 奥村泰彦
サンフランシスコ近代美術館展 浜田拓志
「熊野の音十熊野の色 増田 感・北堅吉彦展」展覧会後記 寺口淳治
追悼／吉田克朗氏を悼む 奥村泰彦
きた、みた、なにした？ 植野比佐見

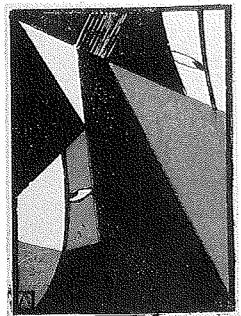
No.23（2000年3月14日発行）

ついにアメリカ大陸横断に成功したあのソーラーカー 浜田拓志
川口軌外こぼれ話—回顧展を終えて 奥村泰彦
「越境する想像力 素材との出会い」展にあたって考えたこと 安来正博
「コレクションにみる芸術と社会」展より 奥村一郎
久本信男《和服婦人像》について 寺口淳治
美術館の日常 作品修復のこと 奥村一郎
きた、みた、なにした？—和歌浦小学校5年2組の「なにした？」— 植野比佐見

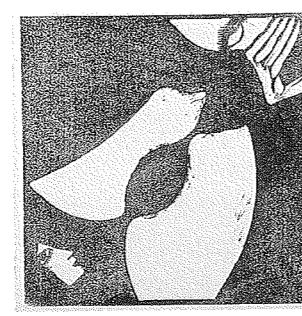
No.24（2000年4月14日発行）

今春より始まる展覧会のご紹介
詩画が奏でるいのちの光 田中恭吉展 寺口淳治、井上芳子、奥村一郎
和歌山県立近代美術館と田中恭吉コレクション 浜田拓志
川口軌外—ある交友 奥村泰彦
きた、みた、なにした？—先生も勉強する— 植野比佐見
美術館での研修を終えて 鈴木美和子（和歌山県立和歌山北高等学校教諭）
美術館の日常 ミュージアムショップより ミュージアムショップ

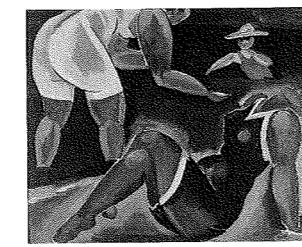
1999年度購入作品



恩地 孝四郎
(資料) よりそふもの
1914(大正3)
木版・紙
19.0×13.7



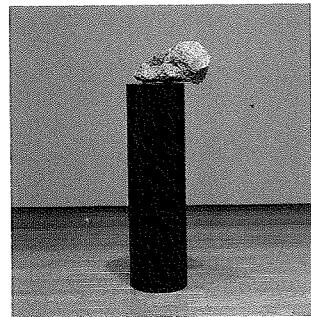
恩地 孝四郎
(版画) 彼女いま屋上を過ぐ
1914(大正3)
木版・紙
15.0×15.0



古賀 春江
(洋画) 海水浴
1923(大正12)
油彩・キャンバス
91.3×116.8

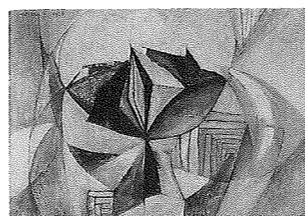


曾我 孝司
(彫刻) 重力質一柱
1984(昭和59)
ブリキ、真鍮、塩化ビニールパイプ
230.0×45.0×1575.0

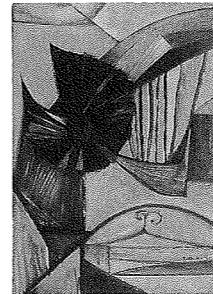


曾我 孝司
(彫刻) Floating Rain '98
1998(平成10)
石・銅
135.0×36.0×28.0

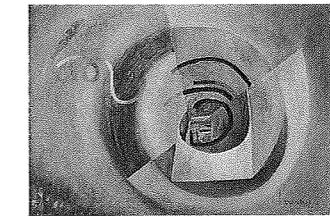
1999年度寄贈作品



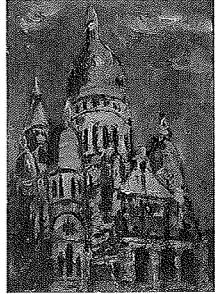
内間 俊子
(洋画) スーベニール
1954(昭和29)
油彩・カンヴァス
49.9×72.5
内間俊子氏寄贈



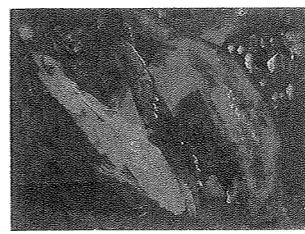
内間 俊子
(洋画) 彩のある風景
1954(昭和29)
油彩・カンヴァス
72.7×50.0
内間俊子氏寄贈



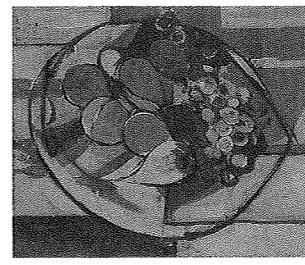
内間 俊子
(洋画) オルゴール
1955(昭和30)
油彩・板
50.0×27.5
内間俊子氏寄贈



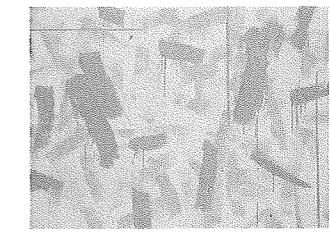
川口 軌外
(洋画) 巴里モンマルトル
1920(大正9)頃
油彩・板
33.0×23.8
寄贈



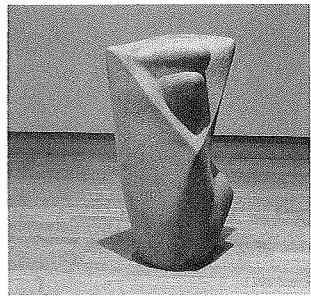
川口 軌外
(洋画) 鯉
1930(昭和5)頃
油彩・板
24.4×32.9
寄贈



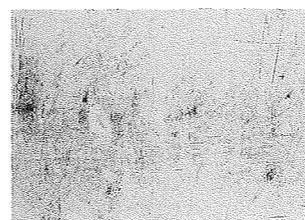
川口 軌外
(洋画) 静物
1937(昭和12)
油彩・キャンバス
38.0×45.5
寄贈



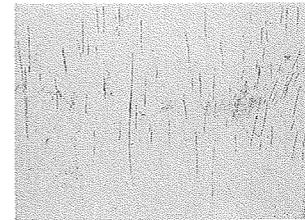
木下 佳通代
(洋画) LA '92-CA711
1992(平成4)
アクリル・キャンバス
218.2×290.8
AD&A駒田哲男氏寄贈



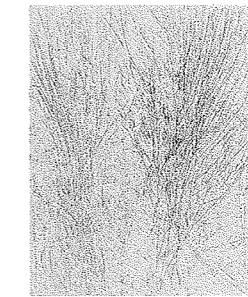
木村 賢太郎
(彫刻) [トルソ]
1963-70(昭和38-45)頃
石
74.8×46.0×43.9
藤田慎一郎氏寄贈



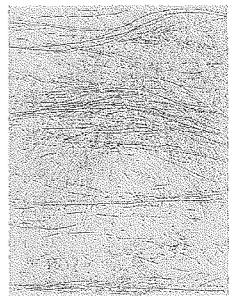
白木 ゆり
(版画) Sonic (A)
1998(平成10)
銅版・紙
83.9×120.2
作者寄贈



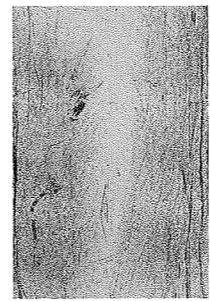
白木 ゆり
(版画) Sonic (C)
1998(平成10)
銅版・紙
84.3×120.5
作者寄贈



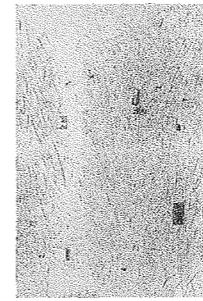
白木 ゆり
(版画) Sound-7
1998(平成10)
銅版・紙
79.4×60.4
作者寄贈



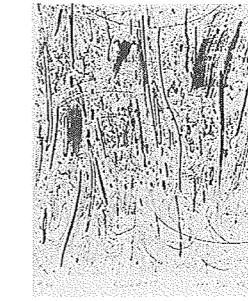
白木 ゆり
(版画) Sound-8
1998(平成10)
銅版・紙
79.4×60.4
作者寄贈



白木 ゆり
(版画) Sound-10
1999(平成11)
エッチング・ドライポイント・紙
174.0×117.0
作者寄贈



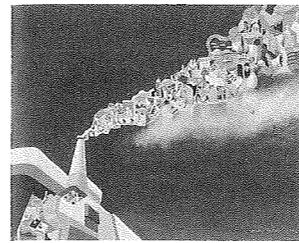
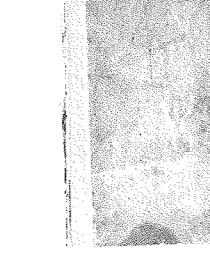
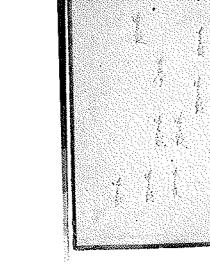
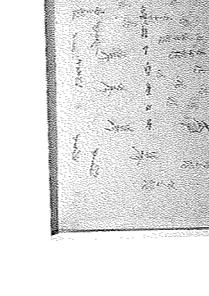
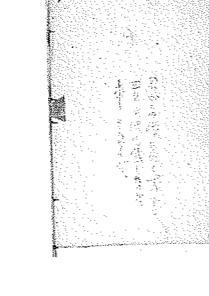
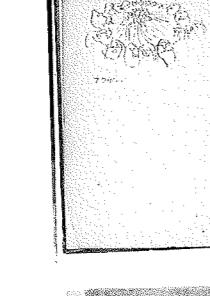
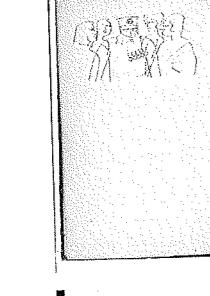
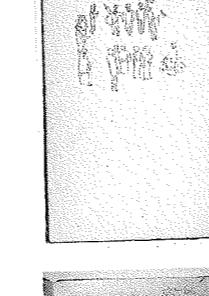
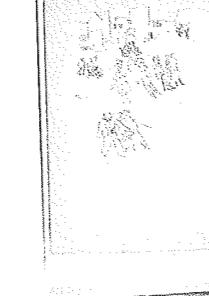
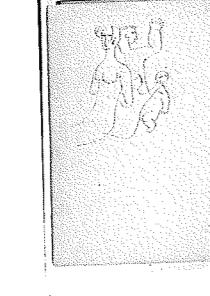
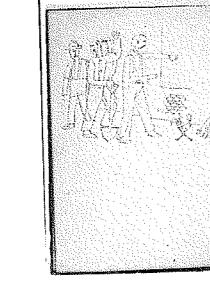
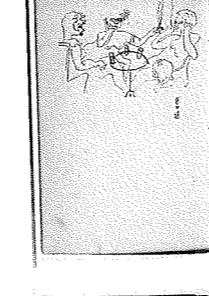
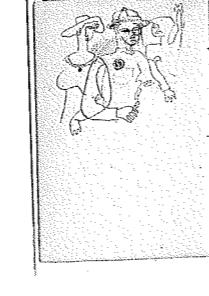
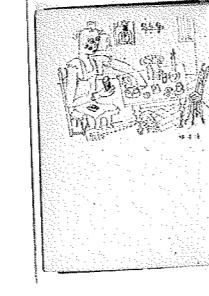
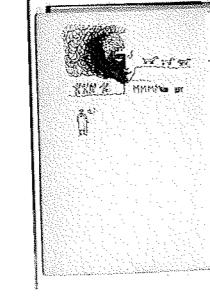
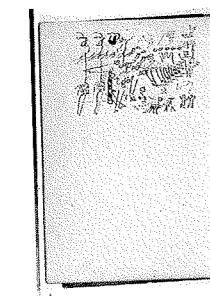
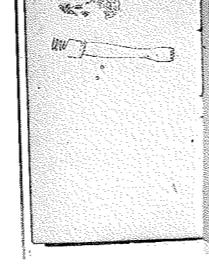
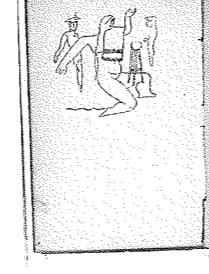
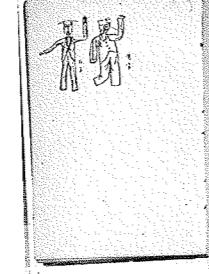
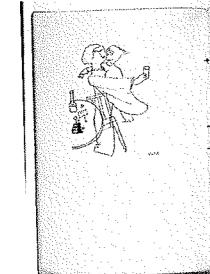
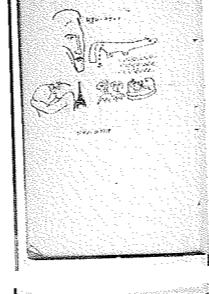
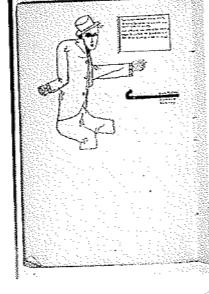
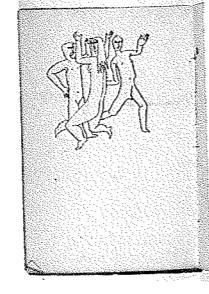
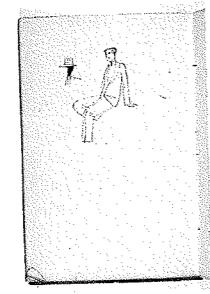
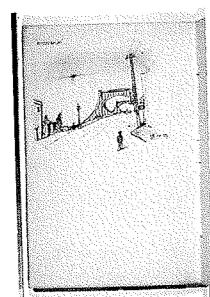
白木 ゆり
(版画) Sound-11
1999(平成11)
銅版・紙
120.1×79.5
作者寄贈



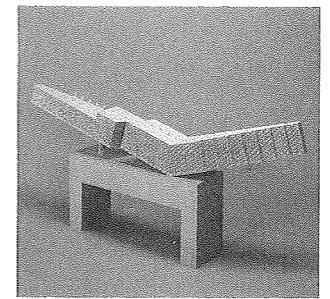
白木 ゆり
(版画) Sound-17
1999(平成11)
銅版・紙
17.2×14.9
作者寄贈

高井 貞二
(資料)
狂ったフルマリズム
1930(昭和5)
インク・紙
22.4×14.7×1.4
高井志づ氏寄贈





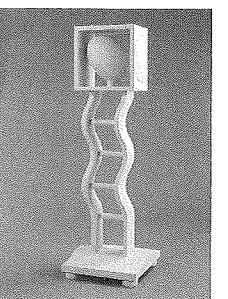
高井 貞二
(洋画) 煙
1933(昭和8)
油彩・キャンバス
91.1×117.0
高井志づ氏寄贈



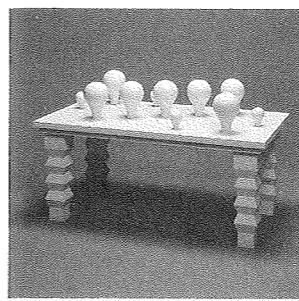
建島 覚造
(彫刻) 断層
1982(昭和57)
木
80.6×177.8×26.1
作者寄贈



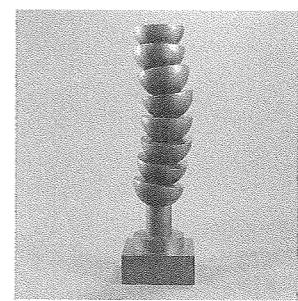
建島 覚造
(彫刻) WAIVING FIGURE 32大
1986(昭和61)
木・ウレタン塗装
198.1×50.0×50.0
作者寄贈



建島 覚造
(彫刻) WAIVING LADDER 10B
1993(平成5)
木・FRP・ウレタン塗装
183.8×57.8×59.9
作者寄贈



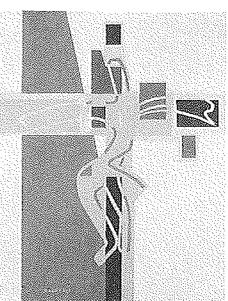
建島 覚造
(彫刻) BALLOON 4(LANDSCAPE)
1996(平成8)
木・FRP・ウレタン塗装
43.6×82.2×47.0
作者寄贈



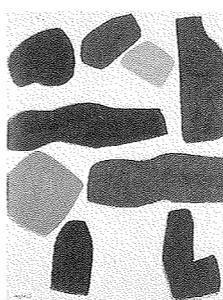
建島 覚造
(彫刻) PILED CUP 2大
1996(平成8)
木・FRP・鉛
140.7×41.1×41.1
作者寄贈



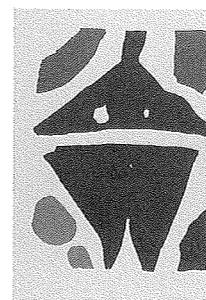
富岡 鉄斎
(日本画) 渔夫倨傲図
1920(大正9)
墨・淡彩・紙本
133.2×31.8
瀧川正徳氏・作子氏寄贈



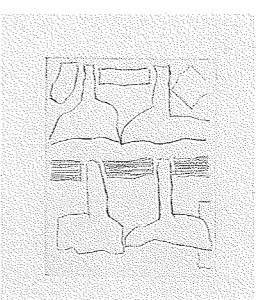
村井 正誠
(洋画) 不詳 [クリジィフィ]
1947(昭和22)頃
油彩・カンヴァス
100.0×80.5
村井伊津子氏寄贈



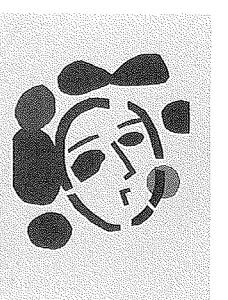
村井 正誠
(洋画) 強そうな人
1989(平成元)
油彩・キャンバス
227.4×182.0
村井伊津子氏寄贈



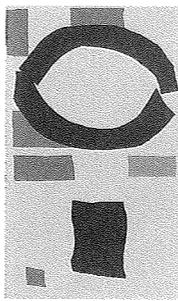
村井 正誠
(版画) 不詳
制作年不明
リトグラフ・紙
62.5×48.0
村井伊津子氏寄贈



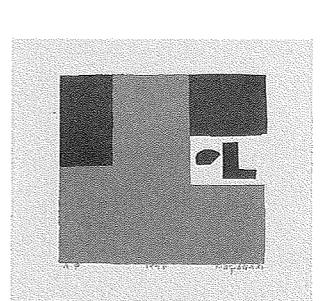
村井 正誠
(版画) 不詳
制作年不明
ドライポイント・紙
17.5×13.7
村井伊津子氏寄贈



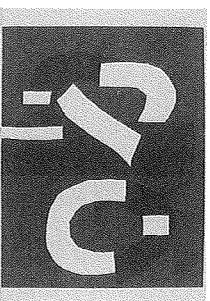
村井 正誠
(版画) 不詳
制作年不明
シルクスクリーン・紙
43.0×39.0
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
制作年不明
シルクスクリーン・紙
45.6×28.0
村井伊津子氏寄贈



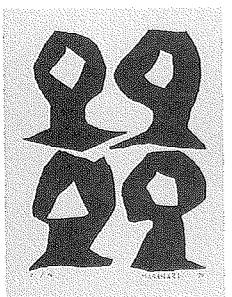
村井 正誠
(版画) 不詳
制作年不明
リトグラフ・紙・シート装
20.4×22.3
村井伊津子氏寄贈



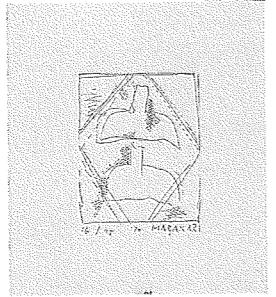
村井 正誠
(版画) 不詳
制作年不明
シルクスクリーン・紙
69.4×53.4
村井伊津子氏寄贈



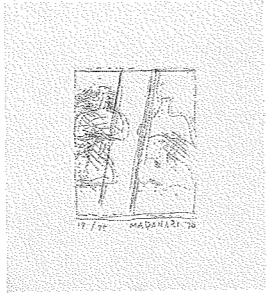
村井 正誠
(版画) 不詳
制作年不明
リトグラフ・紙
56.4×42.3
村井伊津子氏寄贈



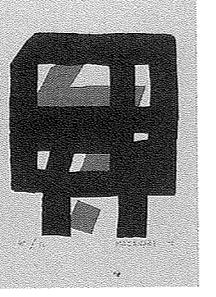
村井 正誠
(版画) 不詳
1970(昭和45)
木版・紙
60.2×44.0
村井伊津子氏寄贈



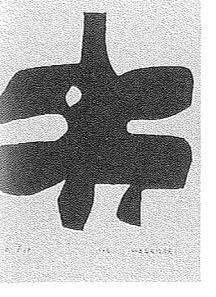
村井 正誠
(版画) 不詳
1970(昭和45)
エッチング・紙
14.5×11.7
村井伊津子氏寄贈



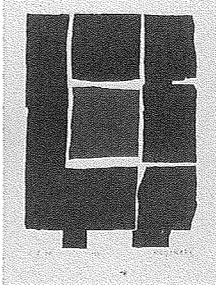
村井 正誠
(版画) 不詳
1970(昭和45)
エッティング・紙
14.6×11.6
村井伊津子氏寄贈



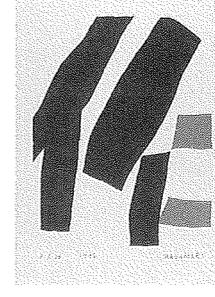
村井 正誠
(版画) 不詳
1972(昭和47)
木版・紙
60.3×45.3
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1974(昭和49)
シルクスクリーン・紙
56.0×52.0
村井伊津子氏寄贈



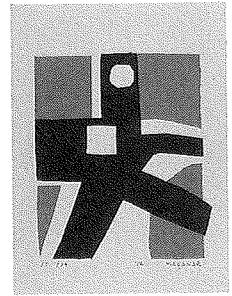
村井 正誠
(版画) 不詳
1974(昭和49)
シルクスクリーン・紙
60.0×44.2
村井伊津子氏寄贈



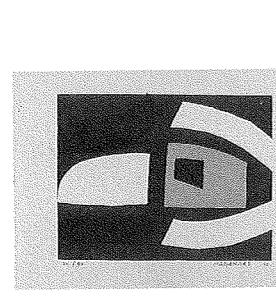
村井 正誠
(版画) 不詳
1974(昭和49)
シルクスクリーン・紙
54.0×46.2
村井伊津子氏寄贈



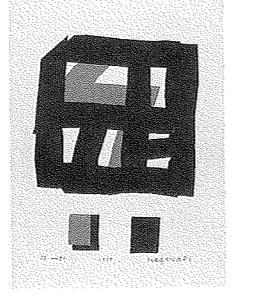
村井 正誠
(版画) 不詳
1974(昭和49)
シルクスクリーン・紙
75.5×56.6
村井伊津子氏寄贈



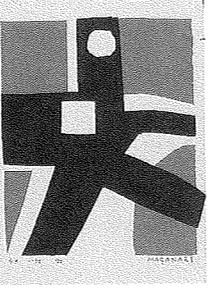
村井 正誠
(版画) 不詳
1972(昭和47)
シルクスクリーン・紙
44.6×37.6
村井伊津子氏寄贈



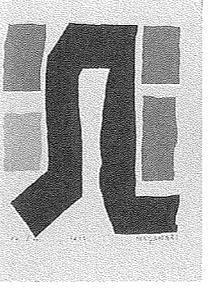
村井 正誠
(版画) 不詳
1972(昭和47)
シルクスクリーン・紙
41.3×34.8
村井伊津子氏寄贈



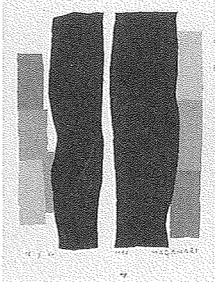
村井 正誠
(版画) 不詳
1972(昭和47)
リトグラフ・紙
55.2×41.4
村井伊津子氏寄贈



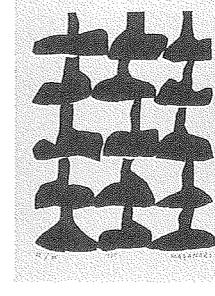
村井 正誠
(版画) 不詳
1974(昭和49)
シルクスクリーン・紙
44.0×37.4
村井伊津子氏寄贈



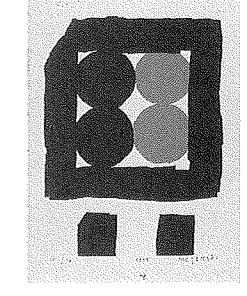
村井 正誠
(版画) 不詳
1975(昭和50)
シルクスクリーン・紙
54.5×46.7
村井伊津子氏寄贈



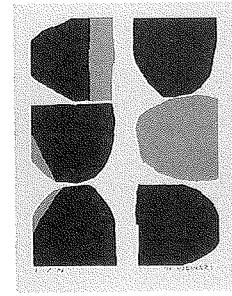
村井 正誠
(版画) パンタロン
1975(昭和50)
シルクスクリーン・紙
61.0×47.0
村井伊津子氏寄贈



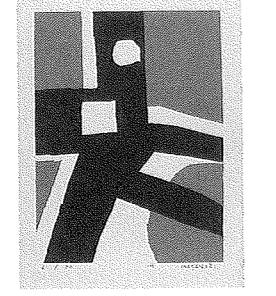
村井 正誠
(版画) 人々
1975(昭和50)
木版・紙
60.5×45.0
村井伊津子氏寄贈



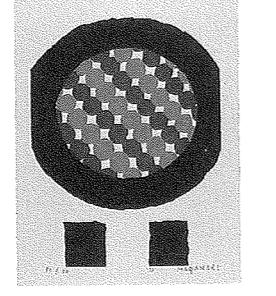
村井 正誠
(版画) 不詳
1975(昭和50)
木版・紙
60.0×45.0
村井伊津子氏寄贈



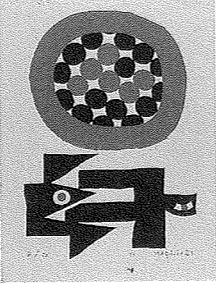
村井 正誠
(版画) 不詳
1972(昭和47)
木版・紙
60.3×45.3
村井伊津子氏寄贈



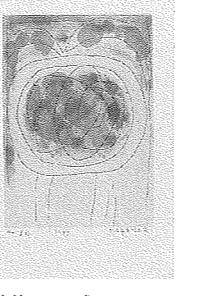
村井 正誠
(版画) 歩く人
1972(昭和47)
木版・紙
61.3×45.4
村井伊津子氏寄贈



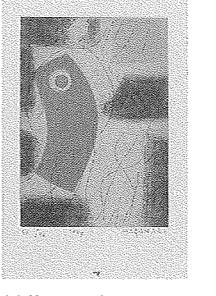
村井 正誠
(版画) 玉と線の顔
1973(昭和48)
木版・紙
60.0×45.5
村井伊津子氏寄贈



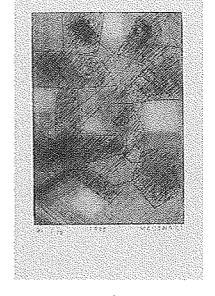
村井 正誠
(版画) 太陽と鳥
1973(昭和48)
シルクスクリーン・紙
64.0×44.0
村井伊津子氏寄贈



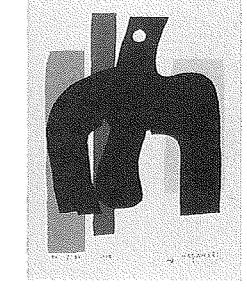
村井 正誠
(版画) ほほえみ
1977(昭和52)
ドライポイント・アクアチント・紙
36.1×25.5
村井伊津子氏寄贈



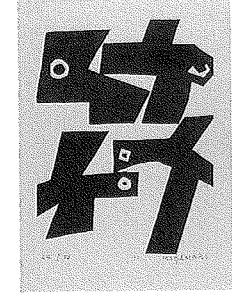
村井 正誠
(版画) 日曜日
1977(昭和52)
ドライポイント・アクアチント・紙
35.9×25.4
村井伊津子氏寄贈



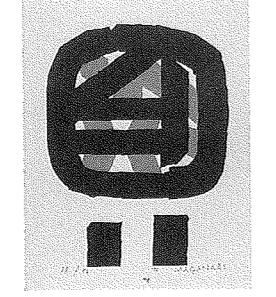
村井 正誠
(版画) 不詳
1978(昭和53)
リトグラフ・紙
36.2×25.5
村井伊津子氏寄贈



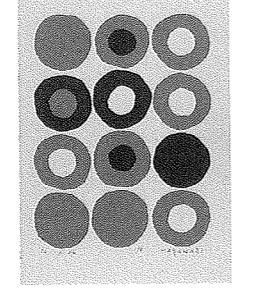
村井 正誠
(版画) 不詳
1978(昭和53)
リトグラフ・紙
62.5×46.0
村井伊津子氏寄贈



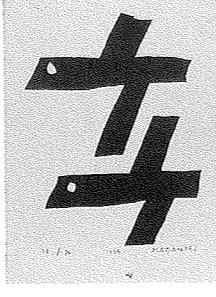
村井 正誠
(版画) [鳥達]
1973(昭和48)
シルクスクリーン・紙
60.4×45.5
村井伊津子氏寄贈



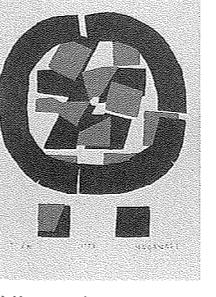
村井 正誠
(版画) 不詳
1973(昭和48)
木版・紙
59.8×45.0
村井伊津子氏寄贈



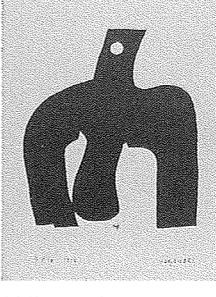
村井 正誠
(版画) 鳥
1973(昭和48)
シルクスクリーン・紙
60.0×45.6
村井伊津子氏寄贈



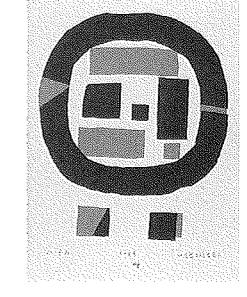
村井 正誠
(版画) 不詳
1978(昭和53)
シルクスクリーン・紙
59.2×45.0
村井伊津子氏寄贈



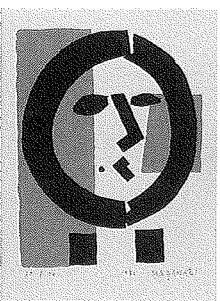
村井 正誠
(版画) 不詳
1978(昭和53)
シルクスクリーン・紙
58.0×49.3
村井伊津子氏寄贈



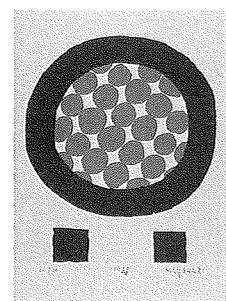
村井 正誠
(版画) 不詳
1978(昭和53)
リトグラフ・紙
51.0×45.0
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1978(昭和53)
シルクスクリーン・紙
58.4×49.0
村井伊津子氏寄贈



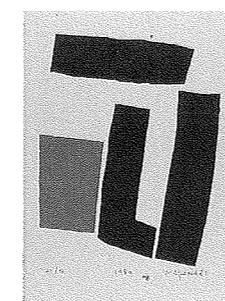
村井 正誠
(版画) 不詳
1980(昭和55)
シルクスクリーン・紙
60.2×47.4
村井伊津子氏寄贈



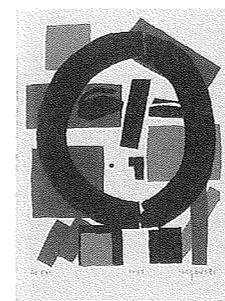
村井 正誠
(版画) 不詳
1980(昭和55)
シルクスクリーン・紙
58.6×49.2
村井伊津子氏寄贈



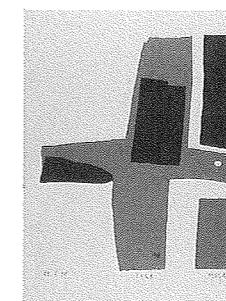
村井 正誠
(版画) 不詳
1980(昭和55)
シルクスクリーン・紙
61.7×46.0
村井伊津子氏寄贈



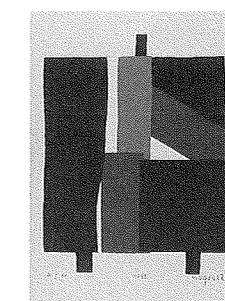
村井 正誠
(版画) 不詳
1980(昭和55)
シルクスクリーン・紙
60.0×47.0
村井伊津子氏寄贈



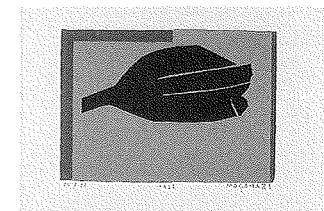
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
シルクスクリーン・紙
64.0×50.8
村井伊津子氏寄贈



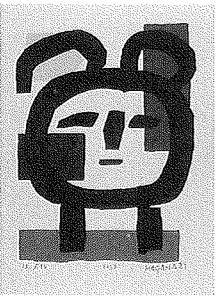
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
リトグラフ・紙
60.5×53.0
村井伊津子氏寄贈



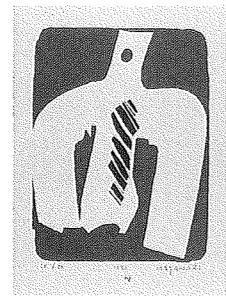
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
シルクスクリーン・紙
61.5×48.0
村井伊津子氏寄贈



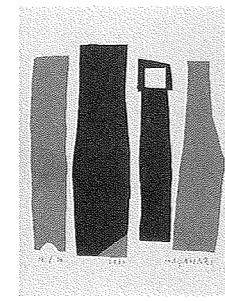
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
シルクスクリーン・紙
27.8×39.5
村井伊津子氏寄贈



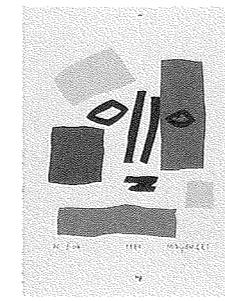
村井 正誠
(版画) 不詳
1980(昭和55)
シルクスクリーン・紙
62.6×45.5
村井伊津子氏寄贈



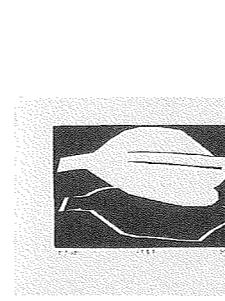
村井 正誠
(版画) 不詳
1980(昭和55)
シルクスクリーン・紙
60.5×45.5
村井伊津子氏寄贈



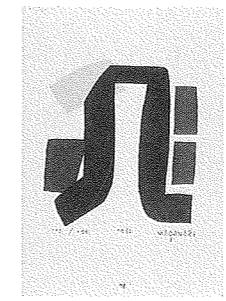
村井 正誠
(版画) 立つ四人
1980(昭和55)
リトグラフ・紙
54.6×39.6
村井伊津子氏寄贈



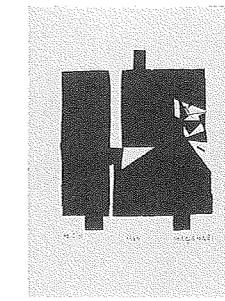
村井 正誠
(版画) 不詳
1981(昭和56)
シルクスクリーン・紙
33.0×28.5
村井伊津子氏寄贈



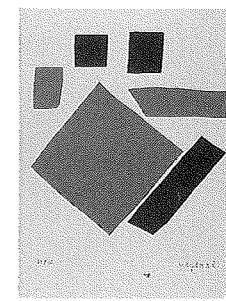
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
シルクスクリーン・紙
22.8×39.6
村井伊津子氏寄贈



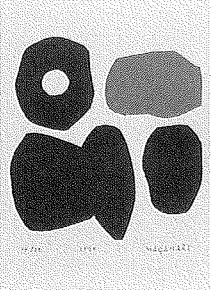
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
シルクスクリーン・紙
31.5×28.0
村井伊津子氏寄贈



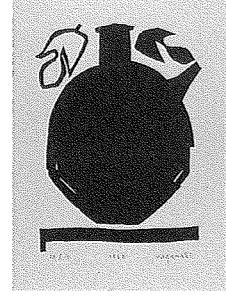
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
リトグラフ・紙
41.0×34.3
村井伊津子氏寄贈



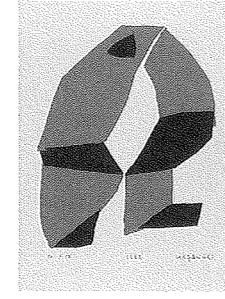
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
リトグラフ・紙
48.6×46.0
村井伊津子氏寄贈



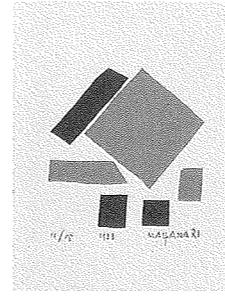
村井 正誠
(版画) 不詳
1981(昭和56)
リトグラフ・紙
51.5×40.0
村井伊津子氏寄贈



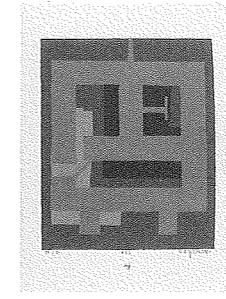
村井 正誠
(版画) 不詳
1982(昭和57)
シルクスクリーン・紙
59.0×41.3
村井伊津子氏寄贈



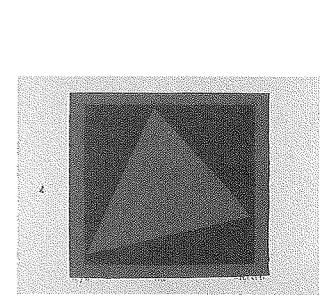
村井 正誠
(版画) 不詳
1982(昭和57)
シルクスクリーン・紙
57.6×46.0
村井伊津子氏寄贈



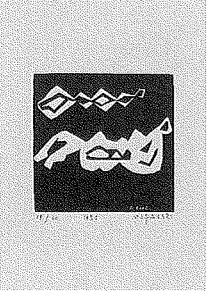
村井 正誠
(版画) 不詳
1983(昭和58)
リトグラフ・紙
17.3×16.5
村井伊津子氏寄贈



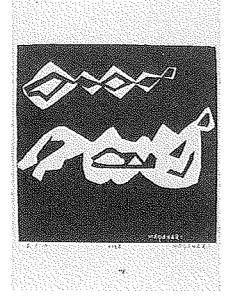
村井 正誠
(版画) 不詳
1984(昭和59)
シルクスクリーン・紙
54.0×44.2
村井伊津子氏寄贈



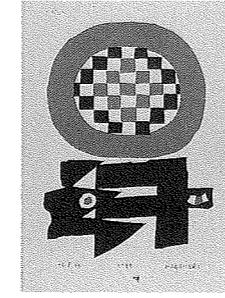
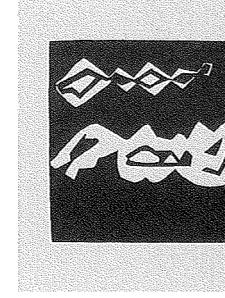
村井 正誠
(版画) 不詳
1984(昭和59)
シルクスクリーン・紙
45.5×49.6
村井伊津子氏寄贈



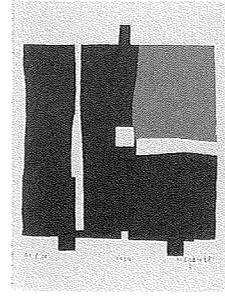
村井 正誠
(版画) 不詳
1982(昭和57)
リトグラフ・紙
17.8×18.0
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1982(昭和57)
リトグラフ・紙
50.5×50.7
村井伊津子氏寄贈



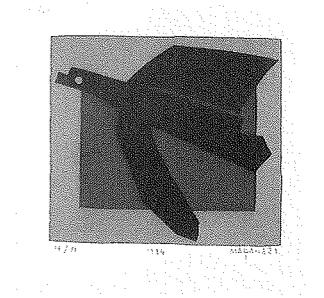
村井 正誠
(版画) 不詳
1982(昭和57)
シルクスクリーン・紙
61.5×44.0
村井伊津子氏寄贈



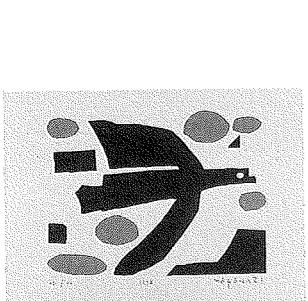
村井 正誠
(版画) 不詳
1984(昭和59)
シルクスクリーン・紙
54.2×50.5
村井伊津子氏寄贈



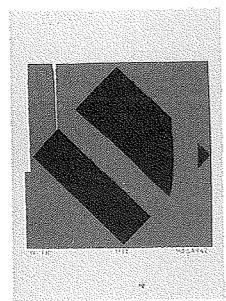
村井 正誠
(版画) 不詳
1984(昭和59)
リトグラフ・紙
59.1×42.9
村井伊津子氏寄贈



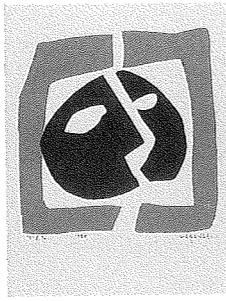
村井 正誠
(版画) 不詳
1984(昭和59)
シルクスクリーン・紙
35.0×39.2
村井伊津子氏寄贈



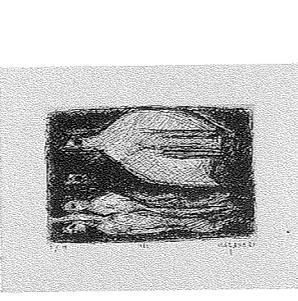
村井 正誠
(版画) 不詳
1984(昭和59)
リトグラフ・紙
33.7×45.3
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1984(昭和60)
リトグラフ・紙
48.0×48.0
村井伊津子氏寄贈



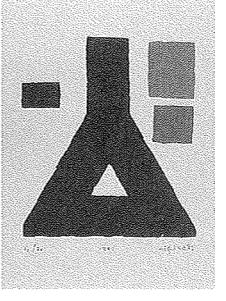
村井 正誠
(版画) 不詳
1985(昭和60)
リトグラフ・紙
45.0×43.3
村井伊津子氏寄贈



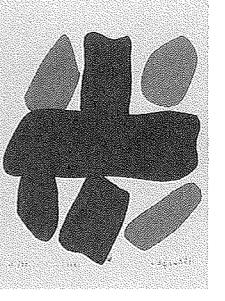
村井 正誠
(版画) 不詳
1985(昭和60)
エッチング・紙
16.9×26.1
村井伊津子氏寄贈



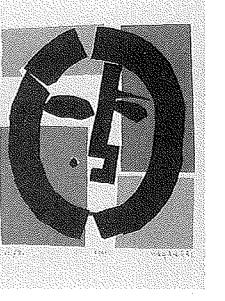
村井 正誠
(版画) 不詳
1985(昭和60)
リトグラフ・紙
43.2×50.2
村井伊津子氏寄贈



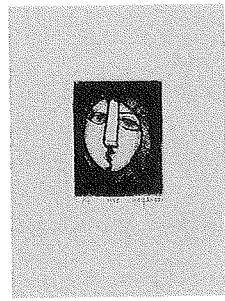
村井 正誠
(版画) 不詳
1991(平成3)
リトグラフ・紙
50.6×44.2
村井伊津子氏寄贈



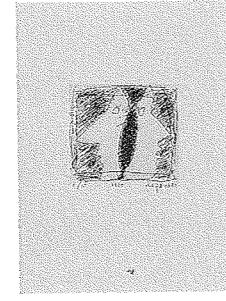
村井 正誠
(版画) 不詳
1991(平成3)
リトグラフ・紙
60.0×50.0
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1991(平成3)
リトグラフ・紙
56.5×50.0
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1985(昭和60)
エッティング・紙
15.1×11.6
村井伊津子氏寄贈



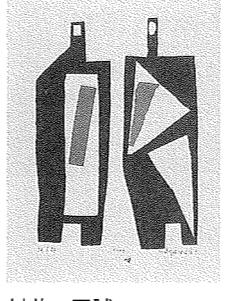
村井 正誠
(版画) 不詳
1985(昭和60)
エッティング・紙
12.5×13.8
村井伊津子氏寄贈



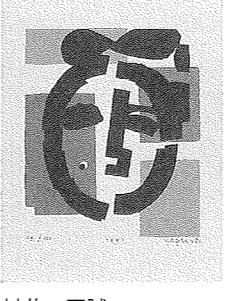
村井 正誠
(版画) 不詳
1987(昭和62)
リトグラフ・紙
55.5×48.0
村井伊津子氏寄贈



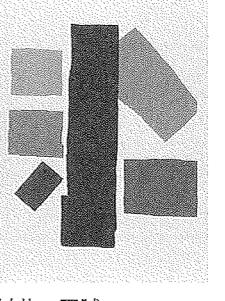
村井 正誠
(版画) 不詳
1987(昭和62)
シルクスクリーン・紙
27.6×24.4
村井伊津子氏寄贈



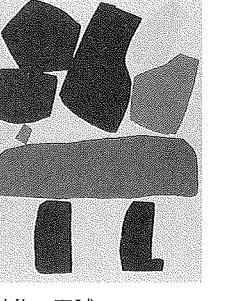
村井 正誠
(版画) 不詳
1990(平成2)
シルクスクリーン・紙
59.3×41.2
村井伊津子氏寄贈



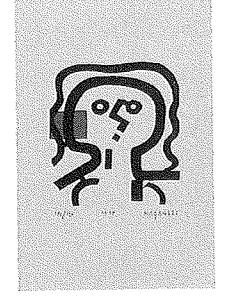
村井 正誠
(版画) 不詳
1991(平成3)
シルクスクリーン・紙
46.0×38.3
村井伊津子氏寄贈



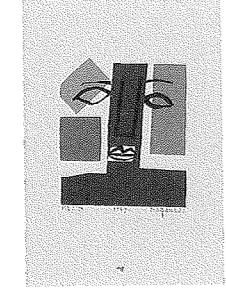
村井 正誠
(版画) 作品
1992(平成4)
シルクスクリーン・紙
57.0×48.2
村井伊津子氏寄贈



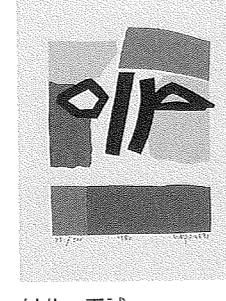
村井 正誠
(版画) 作品1992
1992(平成4)
シルクスクリーン・紙
70.8×53.5
村井伊津子氏寄贈



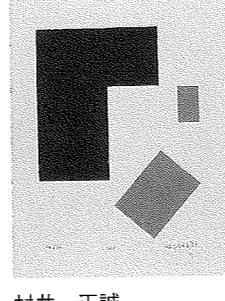
村井 正誠
(版画) 不詳
1987(昭和62)
シルクスクリーン・紙
27.3×24.5
村井伊津子氏寄贈



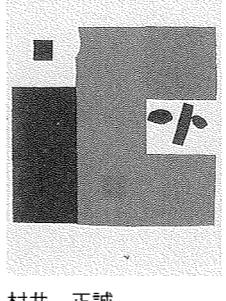
村井 正誠
(版画) 不詳
1987(昭和62)
シルクスクリーン・紙
28.1×23.8
村井伊津子氏寄贈



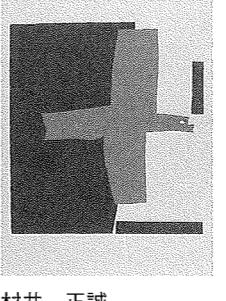
村井 正誠
(版画) 不詳
1989(平成元)
リトグラフ・紙
54.7×41.5
村井伊津子氏寄贈



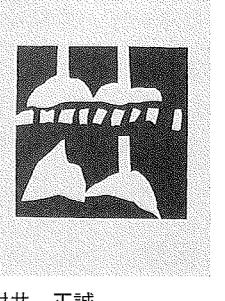
村井 正誠
(版画) 不詳
1989(平成元)
リトグラフ・紙
51.0×52.3
村井伊津子氏寄贈



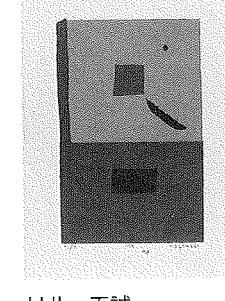
村井 正誠
(版画) 作品1992
1992(平成4)
シルクスクリーン・紙
54.6×50.0
村井伊津子氏寄贈



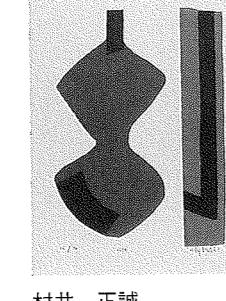
村井 正誠
(版画) 不詳
1992(平成4)
リトグラフ・紙
56.2×59.0
村井伊津子氏寄贈



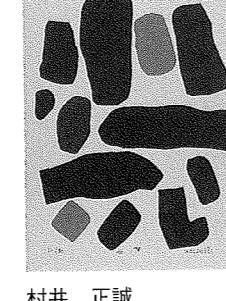
村井 正誠
(版画) 不詳
1994(平成6)
シルクスクリーン・紙
23.9×23.8
村井伊津子氏寄贈



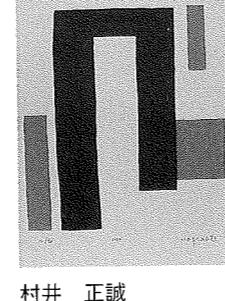
村井 正誠
(版画) 不詳
1989(平成元)
リトグラフ・紙
57.0×36.5
村井伊津子氏寄贈



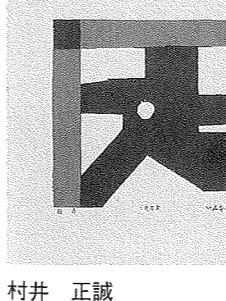
村井 正誠
(版画) 不詳
1989(平成元)
リトグラフ・紙
61.0×44.0
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1989(平成元)
リトグラフ・紙
65.6×51.3
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1989(平成元)
シルクスクリーン・紙
20.0×22.0
村井伊津子氏寄贈



村井 正誠
(版画) 不詳
1995(平成7)
リトグラフ・紙
—

保存事業

資料収集

平成11年度新収蔵図書資料 計2,459点

購入147点

単行図書	16冊
逐次刊行物	5タイトル40冊
その他	5点
一般雑誌(定期購読)	12タイトル86冊

購入図書資料一覧

通番	書名	編著訳者	出版社	出版年
1	A. LHOTE	CASSOU, Jean	Musee National d'Art Moderne	1958
2	Power of Display	STANISZEWSKI, Mary Anne	MIT Press	1998
3	紀ノ川スケッチ紀行	宮村泰彦・藤本文夫	ニュース和歌山	1999
4-8	近代日本洋画素描大系 全5巻	陰里鉄郎ほか	講談社	1984-1985
9-16	定本 佐藤春夫全集 第1、3、10、11、21、22、30、31巻	佐藤春夫	臨川書店	1999
17-20	日本美術全集 22、24、別巻1、別巻2	高階秀爾[ほか]	講談社	1992-1994
21-26	藝天 24、25、27、29、30、50		藝天社	1926-1929
27-45	ザムボア [朱樂] 全19巻 複製版		臨川書店	1969
46-47	月刊デッサン 第2、3号			
48-56	方寸 第2巻第4号、第3巻第1、3、4、5、6、7、8、9号		方寸社	1908-1909
57-60	ゆうかり 第1、2、3、4輯	小川龍彦[編]		1931
61-63	童土社ポスター 3点			1931頃
64	野外の裸婦	P. リュバルスキイ		後刷
65	女	P. リュバルスキイ		後刷

定期購読雑誌

『アサヒカメラ』	12冊
『イラストレーション』	6冊
『インターミュニケーション』	4冊
『季刊銀花』	4冊
『芸術新潮』	12冊
『新建築』	8冊
『スペース・デザイン』	12冊
『デザインの現場』	6冊
『版画芸術』	3冊
『美術手帖』	14冊
『プリント21』	1冊
『炎芸術』	4冊

以上12タイトル82冊

ア 方針

所蔵品の状態を継続して調査するとともに、必要な作品に対しては保存修復処置を行った。また、収蔵庫を中心に所蔵品の保存環境の向上を図った。

イ 所蔵作品の保存修復

油彩画 処置済 3点

版画・素描 処置済 78点

ウ 所蔵作品の状態調査・保存修復

企画展や常設展に出品予定の作品の中から、状態調査を行うとともに、優先的に修復が必要と考えられる作品に必要な保存処置を施した。

とくに特殊な知識・技術を要すると判断された作品については、館外の専門家に調査・保存指導を依頼した。

常設展での展示期間の長い油彩画3点の修復

作家名	作品名	技法材料	処置者
石垣栄太郎	《自画像》	油彩、キャンバス	創形美術学校 修復研究所
野長瀬晩花	《少年像》	油彩、キャンバス	創形美術学校 修復研究所
原勝四郎	《画工像》	油彩、キャンバス	創形美術学校 修復研究所

『日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4』出品作品の修復

作品	修復内容	処置者
版画48点	汚れの除去、酸性紙を使った台紙の除去、インターリーヴィング 欠損部や折れ部の補強などを中心とした作業	谷村博美

『デモクラート展』出品予定作品の修復

作品	修復内容	処置者
版画14点	汚れの除去、洗浄を中心とした作業	谷村博美

『田中恭吉展』出品作品の修復

作品	修復内容	処置者
版画・素描388点	汚れの除去、酸性紙を使った台紙の除去、インターリーヴィング 欠損部や折れ部の補強などを中心とした作業	谷村博美

エ 保存環境の整備

虫菌害対策として、収蔵庫入口に粘着シートを導入した。

美術館内での薬剤燻蒸、散布は行わないものとし、平成11年12月の閉館時期に実施された博物館での収蔵庫内燻蒸とあわせ、平成11年中に寄贈を受けた作品・資料をエキボンによって燻蒸した。

管 理 運 営

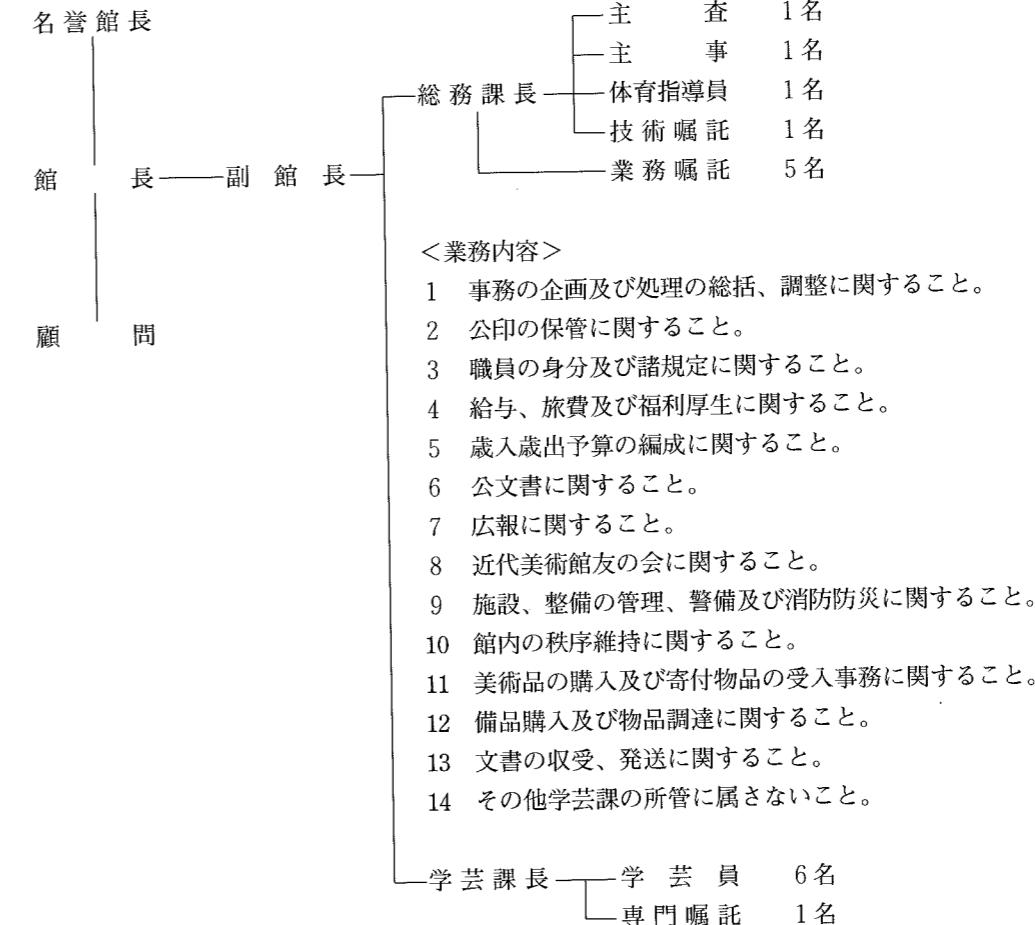
山田光《陶壁》1969
山田光《陶片曼陀羅》1973
山田光《箱とパイプ》1979
山田光《黒陶スクリーン》1982
山田光《窓》1983

18. 菅井汲展 兵庫県立近代美術館、東京都現代美術館 計9点
菅井汲《雷神》1958

2000/3/24-2000/9/3

計1点

組織と業務



<業務内容>

- 1 事務の企画及び処理の総括、調整に関すること。
- 2 公印の保管に関すること。
- 3 職員の身分及び諸規定に関すること。
- 4 給与、旅費及び福利厚生に関すること。
- 5 歳入歳出予算の編成に関すること。
- 6 公文書に関すること。
- 7 広報に関すること。
- 8 近代美術館友の会に関すること。
- 9 施設、整備の管理、警備及び消防防災に関すること。
- 10 館内の秩序維持に関すること。
- 11 美術品の購入及び寄付物品の受入事務に関すること。
- 12 備品購入及び物品調達に関すること。
- 13 文書の収受、発送に関すること。
- 14 その他学芸課の所管に属さないこと。

- 1 美術館活動の年間事業計画に関すること。
- 2 美術の普及及び振興に関すること。
- 3 美術品の購入、選定に関すること。
- 4 近代美術館協議会に関すること。
- 5 展覧会の具体的な企画、展示に関すること。
- 6 学芸員実習生の研修に関すること。
- 7 寄贈作品、寄託作品に関すること。
- 8 作品の外部管理に関すること。
- 9 資料の整理、保管及び貸し出しに関すること。
- 10 近代美術館刊行物の編集に関すること。
- 11 その他美術館事業についての専門的な事項に関すること。

職員現況調

区分	事務	学芸	技術	嘱託	名譽館長	顧問	計	備考
名譽館長	—	—	—	—	1	—	1	
館長	—	—	—	—	—	—	—	
顧問	—	—	—	—	—	1	1	
副館長	1	—	—	—	—	—	1	館長職務代理者
総務課	4	—	1	5	—	—	10	電気技師 1名
学芸課	—	7	—	1	—	—	8	
計	5	7	1	6	1	1	21	

建築概略

所在地	和歌山市吹上一丁目1番
敷地面積	23,356.75m ²
監理	和歌山県土木部營繕課
設計監理	(株) 黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 きんぐん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体
施工費	日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体 137億8086万円 [総事業費 192億633万1千円] (用地費含む)
工事期間	1991年10月～1994年3月

建物概要

構造	RC造(鉄筋コンクリート構造)
建築面積	地上2階地下1階建 7,087.17m ²
延床面積	(美術館部分4,500.62m ² 博物館部分2,586.55m ²) 18,704.50m ² (駐車場3,460.4m ² を含む)
仕上	外装 外壁 磁気質タイル、アルミパネル アルマイド仕上、 アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイド仕上

設備概要

電気設備	
受変電設備	3φ3W6600V 60Hz
変圧器	1φ600KVA (うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ1550KVA (うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービクル式直流電源装置
容量	300AH
空調設備	
熱源設備	空気熱源熱回収型スクリュー式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT
蓄熱槽	1560m ³
排煙設備	自然排煙+機械排煙6系統 (うち美術館4系統 博物館2系統)
衛生設備	
給水設備	受水槽 上水10m ³ 、雑用水29m ³ 給水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水・雨水分流式 (公共下水道へ放流)
消化設備	ハロンガス消化 (収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) ／屋内消火栓／スプリンクラー／消火器／泡消化 (駐車場)
自動火災報知設備	(館内守衛室にて集中管理)
煙感知器	光電スポット型 美術館224台 博物館155台
熱感知器	差動スポット型 美術館105台 博物館74台
定温スポット型	美術館14台 博物館13台
防災・防犯設備	(館内守衛室にて集中管理)
受診盤	複合GR型 504回線
ITV監視装置	防災アンプ (360W)
監視カメラ	美術館33台 (うち展示室14台) 博物館19台 (うち展示室8台)
防犯センター	

美術館 展示・保存環境

	面積	床材	天井高
展示部門	展示室A ケースL13706×D1200×H3372+L31070×D1200×H3372 (mm)	1,057.0m ² ナラフローリング	5m
	展示室B ケースL25211×D1200×H3372 (mm)	486.1m ² 同上	4m
	展示室C 1F展示資材倉庫 2F展示資材倉庫	1,038.6m ² 136.2m ² 121.5m ² 同上	5m
収蔵部門	収蔵庫1(立体) 収蔵庫2(平面) 前室 一時保管室 作業室 荷解室 搬出入室	342.5m ² 685.6m ² 61.4m ² 81.0m ² 82.0m ² 130.0m ² 108.4m ² 同上	耐水合板下地 ブナフローリング 同上 4m モザイクパーケット ビニアスタイル モルタル金ゴテ エポキシ系塗床 4.8m
展示照明	ハロゲンダウンライト／蛍光灯(着脱式)／スポットライト(着脱式) すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能		
空調	展示室 収蔵庫 展示室 収蔵庫 展示室 収蔵庫 作品専用昇降機	2系統 2系統 設定温度 夏期26°C／冬期22°C 設定湿度 通年55% 設定温度 通年22°C 設定湿度 通年55% 油圧式・30m/min・最大積載量3.0トン H3,000×W5,000×D2,500 (mm)	

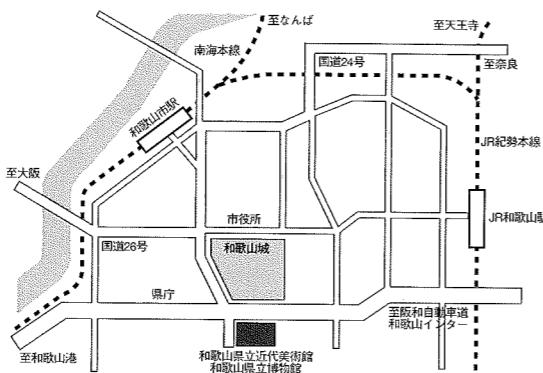
案 内

利用案内

開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日 (月曜日が国民の祝日に当たるときは、その翌日)
国民の祝日の翌日
12月28日~1月4日
駐車場 有料 (90台収容)

建物概要

JR和歌山駅からバス
1番または2番のりばから約10分、県庁前下車、徒歩約2分
南海電鉄和歌山市駅からバス
9番のりばから約7分、県庁前下車、徒歩約2分



1999年度 和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2001
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14
TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337
2001(平成13)年3月31日発行
印刷 白光印刷有限会社